

説明書

IRIE

ハイビジョン液晶テレビ

24V型 MAL-FWTV24-S

詳しくは、本体背面の製品ラベルをご確認下さい。

テレビを見る

録画機器を使う

接続機器を使う

インターネット
に接続する

調整・設定をする

その他

もくじ

安全上のご注意	5
---------	---

準備をする

付属品を確認をする	6	miniB-CASカードを挿入する	14
各部のなまえ	7	挿入のしかた	14
前面	7	リモコンの準備をする	15
背面	7	乾電池を入れる	15
本体操作ボタンと入出力端子	8	リモコンの使用範囲について	15
テレビ背面のVESA規格について	8		
リモコン	9		
デジタル放送の種類と特徴	11		
アンテナを接続する	11		
お願いとご注意	11		
地上デジタル用アンテナ線のつなぎかた	12		
BS・110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた	12		
スタンドを取り付ける	13		

テレビを見る

「かんたん設置設定」をする	16	データ放送やラジオ放送を楽しむ	22
「かんたん設置設定」について	16	連動データ放送を楽しむ	22
テレビ番組を楽しむ	18	データ放送の表示を切る	22
電源を入れる	18	双方向通信を行う	22
放送を選ぶ	18	独立データ放送を楽しむ	22
チャンネル番号で選局する	18	便利な機能を使う	23
番組表から選局する	18	高速で起動画面を表示する	23
地上デジタル放送で枝番が異なる放送を選局する	18	音声を切り替える	23
音量を調整する	18	視聴しない放送を操作できないようにする	23
一時的に音を消す	18	字幕の表示、非表示を切り替える	23
メニューについて	19	字幕の言語を切り替える	24
番組表で番組を探す	20	字幕スーパーを切り替える	24
番組表を見る	20	字幕スーパー言語を切り替える	24
番組表から検索して番組を探す	20	放送中の画面を静止する	25
番組の検索範囲を変更する	21	時計の表示を設定する	25
番組データを取得する	21	タイトルの表示を設定する	25
番組の表示範囲を変更する	21	オフタイマー機能	25
表示していない番組を表示する	21	オンタイマー機能	25
視聴制限を一時的に解除する	21	文字を入力する	27
		文字を入力する	27
		文字入力設定をする	27

録画機器を使う

録画・予約機能について	28	予約・録画の優先順位と予約の動作について	37
USBハードディスクを接続する	28	予約・録画の優先順位について	37
USBハードディスクの設定をする	29	録画した番組を再生する	38
新しいUSBハードディスクを登録する	29	再生の基本操作	38
USBハードディスクの設定をする	29	録画番組の再生中にできるリモコン操作	38
録画の基本的な設定をする	31	番組を録画しながら再生する	39
録画について	31	指定した箇所を繰り返し再生する	39
デジタル放送の著作権保護について	31	「チャプター一覧」画面で場面を選んで再生する	39
番組を録画する	32	録画番組再生中に、字幕言語や音声などを変更する	39
放送中の番組を予約する	32	ほかの機器を選択する	39
番組表で簡単に予約する	32	録画した番組名を編集する	40
毎週予約する	32	見たい録画番組を探して再生する	41
連続ドラマを予約する	33	不要な録画番組を消す/ 誤って消さないように保護する	41
オートチャプター設定する	33	一つの録画番組を消す	41
日時・ジャンルを指定して予約をする	34	複数の録画番組を一括で消す	41
日時を指定して予約をする	34	誤って消さないように保護する	41
ジャンルを指定して予約をする	34		
録画予約の確認や設定変更をする	35		
予約を確認する	35		
予約を削除する	35		
予約を変更する	35		
予約の詳細設定をする	35		
番組の視聴予約をする	36		
番組の視聴予約をする	36		
番組の視聴予約を削除する	36		

接続機器を使う

外部機器を接続する	42	自動切の設定をする	46
外部機器の映像を見る	45	レコーダ操作の設定をする	46
使用しない外部入力をスキップする	45	HDMI連動について	47
入力切替時に画面に表示される機器名を設定する	45	HDMI連動対応のオーディオ機器で聴く時	47
外部機器の接続設定をする	46	HDMI連動機能について	47
電源入連動の設定をする	46	HDMI連動機器を操作するための設定をする	48
電源切連動の設定をする	46	HDMI機器選択の設定をする	48

インターネットに接続する

インターネットを利用するための	49
接続をする	
本機をインターネットに接続したときに できること	49
ネットワーク接続の設定をする	50
ネットワークの接続をする	50
ネットワーク状態の確認をする	51

調整・設定をする

お好みの音声に調整する	52	チャンネルを追加したり設定を変更したり するとき	62
お好みの画面に調整する	52	地上デジタルチャンネルを設定する	62
アンテナを調整する	60	チャンネルをお好みに手動で設定する	63
アンテナレベルを確認する	60	視聴できる番組を制限する	64
アンテナ受信設定をする	60	制限するために暗証番号を設定する	64
		番組の視聴を制限する	64
		暗証番号を削除する	64

その他

ソフトウェアについて	65	こんな場合は故障ではありません	68
ソフトウェアのバージョンを確認する	65	症状に合わせて解決法を調べる	68
ソフトウェアライセンス情報を確認する	65	エラーメッセージが表示されたとき	74
デコーダーIDを確認する	65	シングルチューナーの留守録について	76
ルート証明書情報を確認する	65	録画・見る	76
お知らせを見る	66	ご使用上のお願いとご注意	77
放送メールを見る	66		
CSボードを見る	66		
miniB-CASカード情報を確認する	66		
カード情報を確認する	66		
テストをする	66		
お買い上げ時の設置に戻るには	67		

安全上のご注意

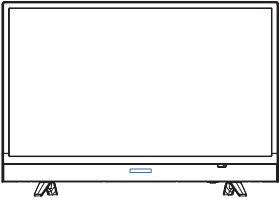

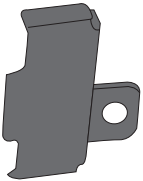

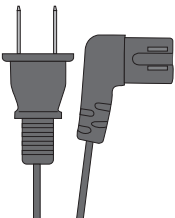
製品及び取扱説明書は、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全にお使い頂くために、重要な内容を記載しています。

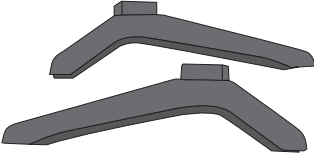

- 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐ電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 上に物を置いたり、ペットをのせたりしないでください。
 - ・金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。
- 電源プラグは交流 100V コンセントに根元まで確実に差し込んでください。
 - ・交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
 - ・差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
 - ・傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。
- 通風孔をふさがないでください。
 - ・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 - ・壁に押しつけないでください。(10cm 以上の間隔をあける)
 - ・押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
 - ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
 - ・じゅうたんや布団の上に置かないでください。
 - ・あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。
- テレビの周囲に薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤などを置かないでください。
 - ・薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中には、プラスチックに付着すると劣化やひび割れを生じさせるものがあります。テレビのキャビネットやスタンド部分が破損すると、感電の原因となったりテレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などがテレビに付着したときは、すぐにきれいにふき取ってください。
- 修理・改造・分解はしないでください。
 - ・内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- miniB-CAS カードを乳幼児の手の届く所に置かないでください。
 - ・誤って飲み込むと窒息またはけがのおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。
 - ・miniB-CAS カードは、台紙(説明書)から取り出し、すみやかに本機の miniB-CAS カード挿入口に挿入してください。
- 内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に、点検をご依頼下さい。
- 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置してください。
 - ・万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。
- 温度の高い場所に置かないでください。
 - ・直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。また、熱によるキャビネットの変形や破損などによって、感電やケガの原因となることがあります。

使用条件温度：0℃～40℃/-20℃～45℃
- 車(キャスター)付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定してください。
 - ・固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないで、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。
- 内部に異物を入れないでください。
 - ・通風孔やすき間などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
 - ・テレビが落ちて、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。
- 包装に使用しているビニール袋でお子様が進んだりしないように注意してください。
 - ・かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かないでください。
 - ・火災・感電の原因となります。

付属品を確認する

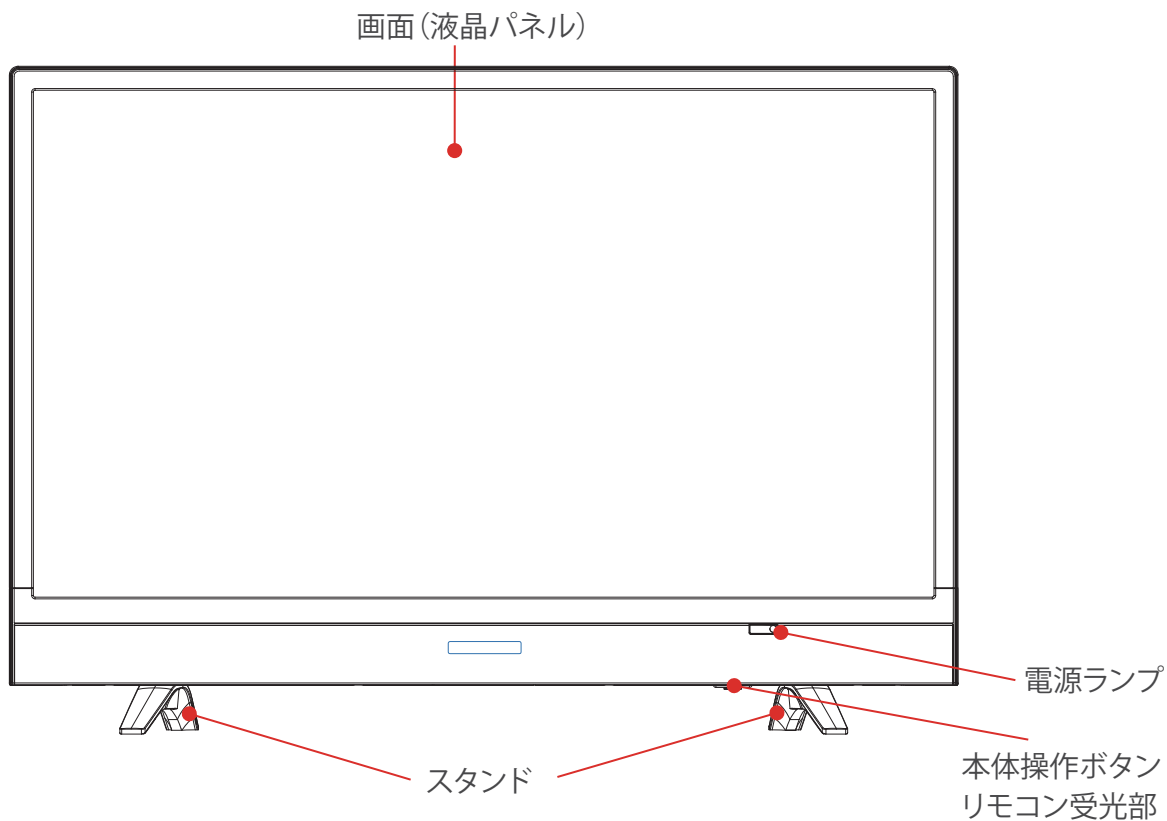
- 本機には以下の付属品があります。お確かめください。
- アンテナや外部機器などに接続するためのケーブルやコード、器具・機器・電池などは付属されておりません。
- 機器の配置や端子の形状、使用環境などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

付属品/名称	付属数
<p>本体</p> 	1個
<p>mini B-CASカード</p> 	1個
<p>mini B-CASカード 紛失防止ホルダー</p> 	1個
<p>mini B-CASカード 紛失防止ホルダー 固定用ネジ</p> 	1個
<p>電源ケーブル</p> 	1個

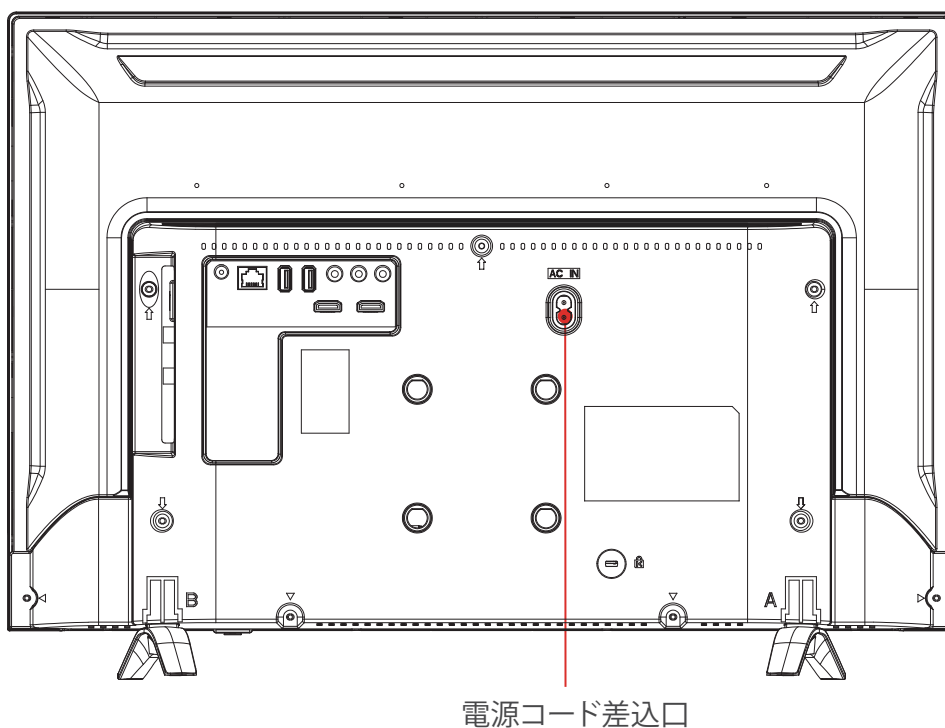
付属品/名称	付属数
<p>リモコン</p> 	1個
<p>スタンドベース</p> 	2個
<p>スタンドベース固定ネジ</p> 	2個
<p>説明書</p> 	1冊
<p>保証書</p> 	1冊

各部のなまえ

前面

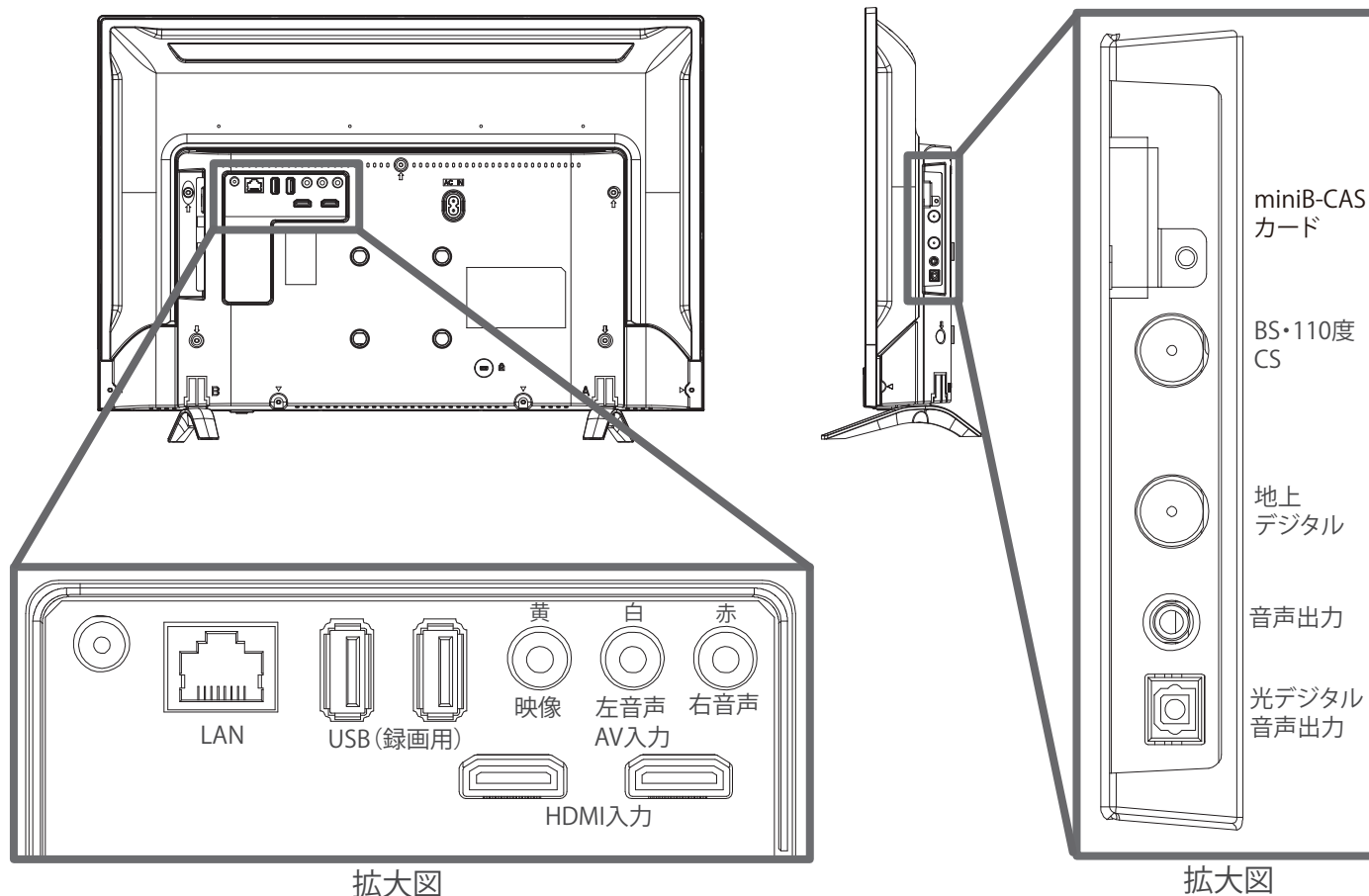


背面



- 電源コードは本製品でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 電源プラグは設備と電源との切断手段として、簡単に操作できる状態にしてください。

本体操作ボタンと入出力端子



拡大図

拡大図

【通信LAN】

- インターネットにLANケーブルで接続をおこないます。

【USB (録画用) 1、2】

- USBハードディスクを接続して録画・再生ができます。

【AV入力】

- 映像機器を接続します。
- 映像・左音声・右音声の3つで構成される端子です。ビデオ入力ケーブルで接続をおこないます。

【HDMI入力1、2】

- 映像機器やHDMI連動対応のオーディオ機器を接続します。

【miniB-CASカード】

- TVをご利用になる際、miniB-CASカードを差し込みます。

【BS・110度CS DC15V 最大4W】

- BS/110度CSアンテナ電源を接続します。

【地上デジタル】

- 地上デジタルアンテナを接続します。

【音声出力】

- ヘッドホンを接続します。

【光デジタル音声出力】

- デジタル音声(光)端子付のオーディオ機器で聴く時、オーディオ用光デジタルケーブルで接続を行います。

テレビ背面のVESA規格について

ネジ穴寸法は、75mm × 75mmです。VESA規格に準じた金具が使用できます。本機の重量は、3.7kgです。本機の重量に合った壁掛け金具を使用して下さい。取付ネジのサイズは、PM4×10mm (本体付属) を使用して下さい。ご使用の金具により、ネジが若干長い場合は、ワッシャーを入れて調整して下さい。上記の条件に合った金具を使用して下さい。

◇ご注意◇

長いネジを使用すると、内部の部品へダメージを与え製品を損傷します。











リモコン

- 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです。
(ボタンによっては、通常の操作時と機能の異なるものがあります)

アイコン	名称	概要
	電源	テレビの電源の入/切をします。
	入力切換	入力ソースを切り換えます。 入力切換ボタンを押す度、入力が切り換わります。
	数字	視聴するチャンネル選択をします。 文字入力にも使用します。
	C S	110度CSデジタル放送に切り換えます。
	dデータ	データ放送を表示します。
	録画リスト	録画リストを表示します。
	音声切換	2カ国語/ステレオなど音声を切り換えます。
	消音	音声を一時的に消します。再度押すと消音を解除します。
	メニュー	メニュー画面を表示します。
	戻る	1つ前の画面に戻ります。
	決定	選択内容を決定します。 △▽ボタン…カーソルを移動します。
	3桁入力	3桁番号を入力するとき使用します。
	地デジ	地上デジタル放送へ切り換えます。
	字幕	字幕へ切り換えます。
	画面表示	受信しているチャンネルの番組情報が表示されます。
	チャンネル△/▽	順番にチャンネルを切り換えます。
	音量+/-	音量を大きく/小さくします。
	B S	BSデジタル放送へ切り換えます。
	サブメニュー	サブメニューを表示します。 予約一覧等の確認・写真再生等に使用します。
	終了	メニュー画面等を消します。
	番組表	番組表を表示します。



リモコン

アイコン	名称	概要
	サーチ (早戻し/早送り)	再生しながら、見たい場面を探します。
	再生	録画番組を再生します。
	一時停止/静止	再生中の映像を一時停止します。 映像画面のみ停止します。
	スキップ	チャプター先頭から再生します。
	録画	今見ている番組の録画をします。
	停止	録画や再生中の映像を停止します。
	10秒バック	再生中に押すと、約10秒戻って再生します。
	残量	「USB機器管理」画面を表示し、接続されたUSBハードディスクの残量などを確認します。またUSBハードディスクを本機から取り外す操作ができます。
	オフタイマー	本機の電源を切るまでの時間を設定します。
	30秒スキップ	再生中に押すと約30秒先のシーンから再生します。
	カラー (青、赤、緑、黄)	データ放送を利用する場合に使用します。



デジタル放送の種類と特徴

本機は以下のデジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

2003年12月から関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で開始され、2006年末までにその他の都道府県の県庁所在地で開始された、地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。

- UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特徴です。
- 本機は「CATV/パススルー対応」です ケーブルテレビ局が再送信する地上デジタル放送を受信することができます。

BSデジタル放送/110度CSデジタル放送

- 受信にはBS・110度CS共用アンテナを使用します。
- BSデジタル放送
デジタル方式の放送衛星 (BroadcastingSatellite:通称BS) を使用したデジタル衛星放送です。
 - ・ 日本全国どこでも同じ放送を楽しむことができ、一部に視聴契約が必要な有料チャンネルがあります。
 - ・ 2種類のデータ放送 (連動データ放送、独立データ放送) や双方向サービスがあります。
- 110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の衛星と同じ東経110度に打ち上げられている通信衛星 (CommunicationSatellite:通称CS) を利用して、スカパー JSAT (株) が運用しているデジタル衛星放送です。
 - ・ さまざまなテレビ番組や専門チャンネル、データ放送などの多彩な放送があります。
 - ・ 多くのチャンネルで有料の視聴契約が必要です。

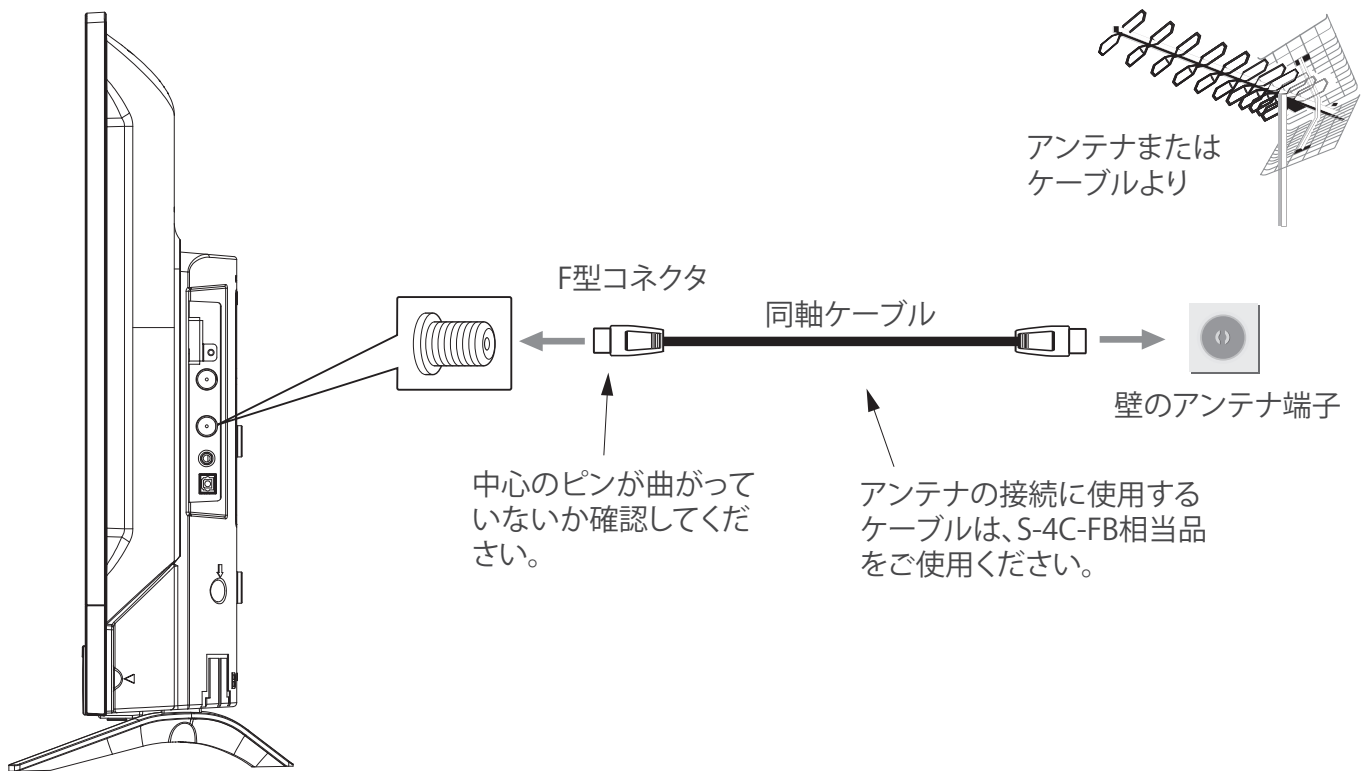
アンテナを接続する

お願いとご注意

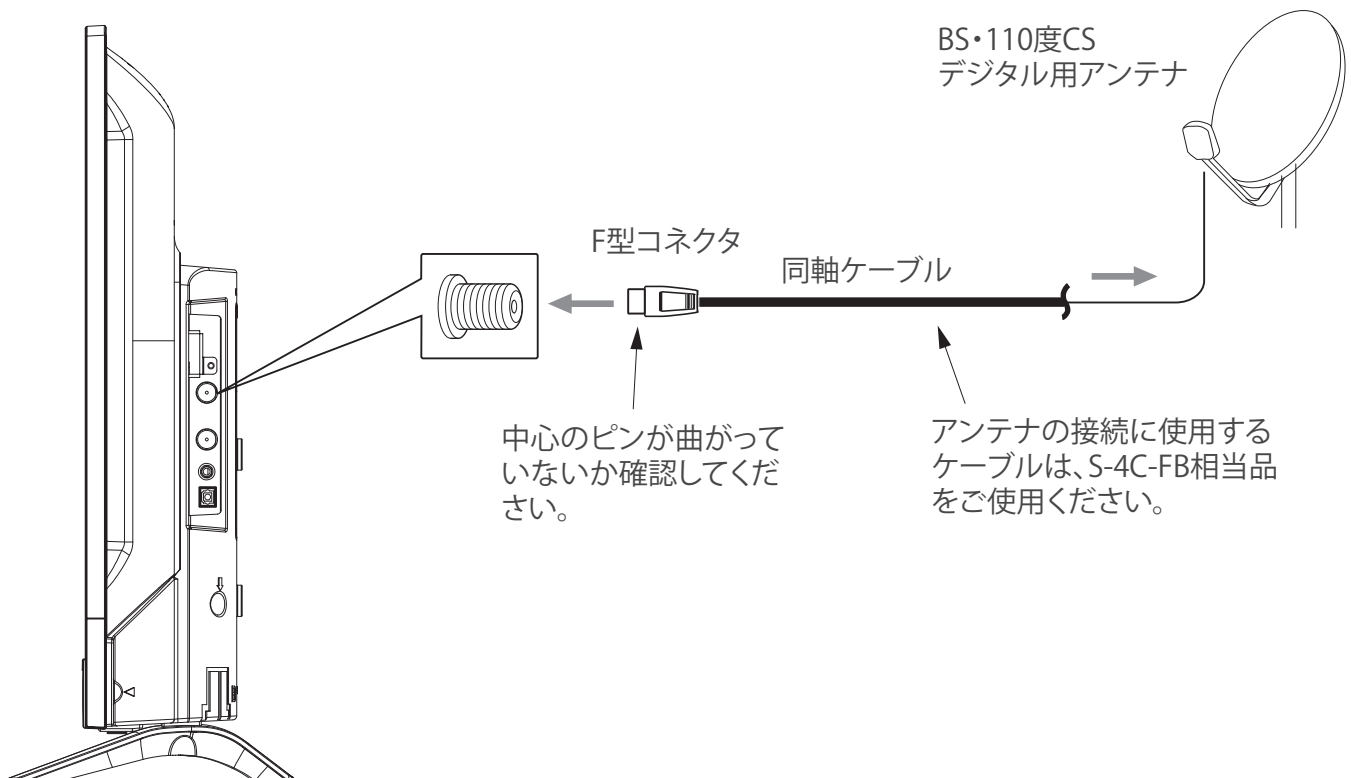
※ アンテナ工事には技術と経験が必要です。

- アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- アンテナや接続に必要なアンテナ線 (同軸ケーブル)、混合器、分波器、分配器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類 (電波の種類) などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。
- F型コネクタがネジ式のアンテナ線をおすすめします。
差込式のものを使用する場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。接触が悪いと、受信できなかったり、ときどき映らなくなったりすることがあります。
- F型コネクタのピンが曲がっていないか確認してください。
曲がったままで接続すると、折れたり、ショートしたりすることがあります。
- アンテナ線のF型コネクタは、ゆるまない程度に手で締めつけてください。
工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子や本機のアンテナ入力端子、背面パネルが破損するおそれがあります。
- アンテナを接続するときは必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

地上デジタル用アンテナ線のつなぎかた



BS・110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた



スタンドを取り付ける

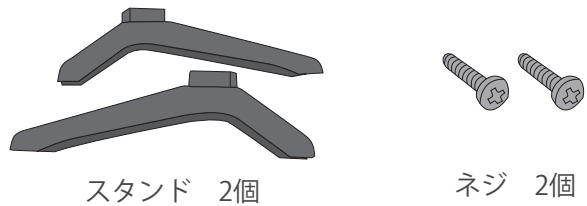
⚠ 注意

- 二人以上で作業する
ひとりで作業をすると、身体を痛めたり、けがをしたりする原因になります。
- 画面を強く握らない
画面を強く握ると、割れるおそれがあります。

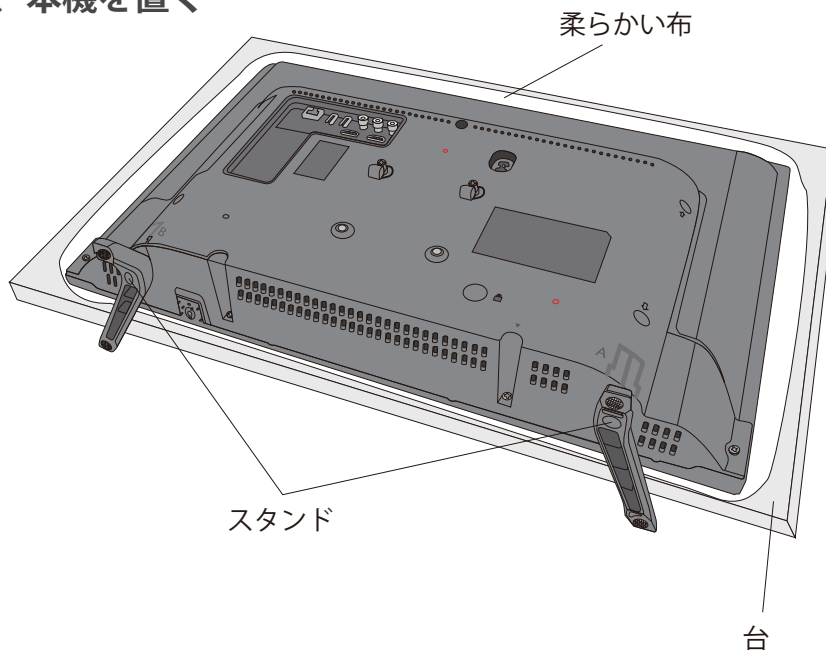
- 本機はテレビを横に寝かせてスタンドを取り付けます。
- その際に包装材を簡易テーブルとして使用します。
- 本体よりも大きいテーブルがある場合は、テーブルの上に毛布などの柔らかい布を敷いて、作業台とすることができます。

- 本機のスタンド取付作業では、包装材を横に寝かせて簡易テーブルとして使用します。包装箱の前方にスペースを確保してください。
- ネジ取付用にプラスドライバーをご用意ください。
- ※ 製品についている保護フィルムやテレビ本体に固定されている電源コードは、テレビの設置作業が終わってから取りはずすようにしてください。(図では省略しています)

① 付属されているスタンド、ネジを確認する

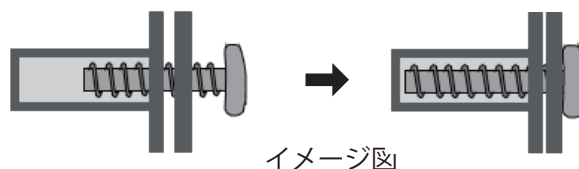


② テーブルなどの台の上に毛布などのやわらかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにし、本機を置く



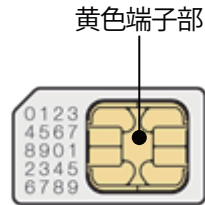
③ 本体にスタンドを固定する穴の位置を合わせ、付属のネジでしっかり固定する

※ スタンドがぐらついてしまう場合は、ネジが奥まで入っていないと考えられます。しっかり固定する仕様の為、ネジが途中で固くなってしまふことがあります。強く押し込みながらネジを回して固定して下さい。



miniB-CASカードを挿入する

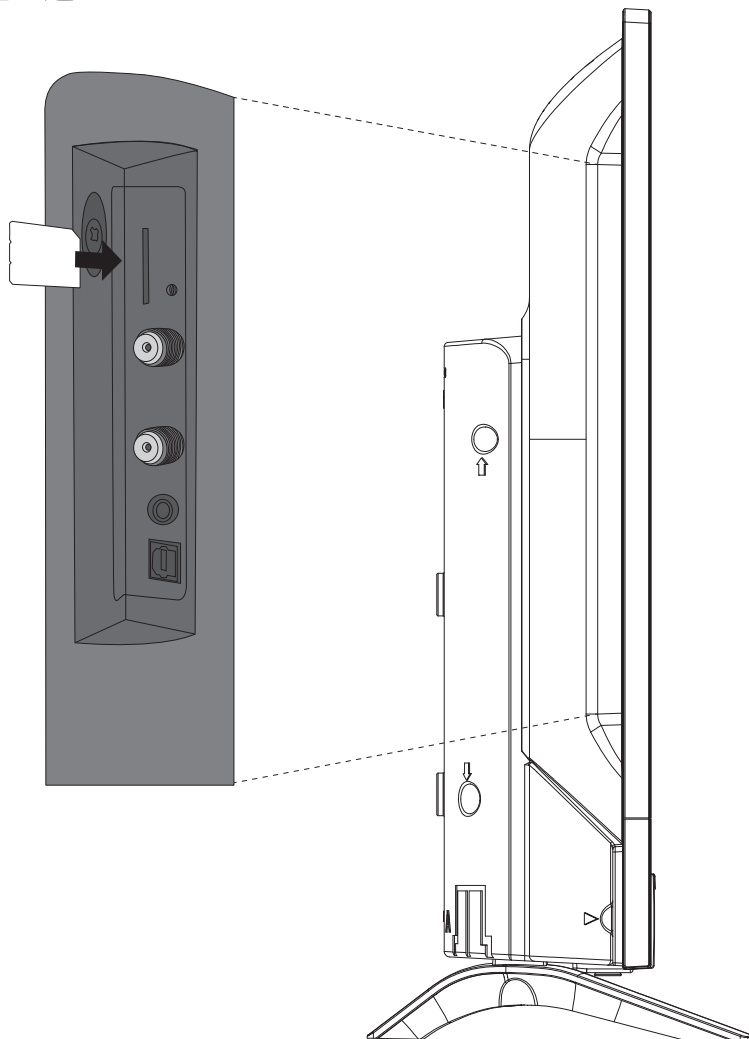
- miniB-CASカードは説明書などが入った袋の中にあります。
- 台紙（説明書）は裏面もよくお読みの上、大切に保管してください。
- miniB-CASカードを抜き差しするときは、本機の電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 金色端子部がよごれるとデジタル放送を受信できなくなることがあります。
金色端子部に触れないようにご注意ください。



- 乾いたきれいな手で取り扱ってください。
金色端子部が指紋など、汚れてしまった場合は、乾いたきれいな柔らかい布で拭き取ってください。

挿入のしかた

- 1** miniB-CASロゴ印刷面を本体の背面側に向け、
(黄色端子部を本体の前面側に向け) 角が欠けた方から差し込む
- 2** カチッと音が鳴るまで押し入れる



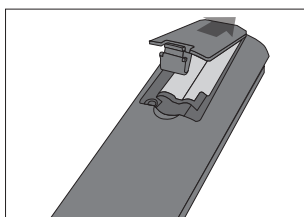
リモコンの準備をする

乾電池を入れる

- お買い上げ時は電池が付属されておりません。別途、単四形乾電池2本をご用意ください。

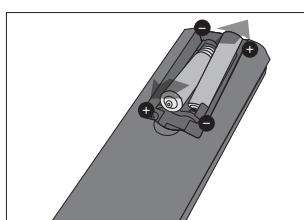
1 電池カバーをはずす

カバー上部のツメをカバー下部方向に押しながらすくい上げ、電池カバーを取りはずします。



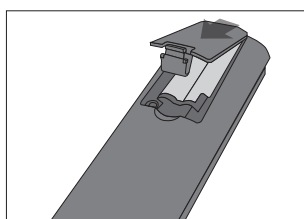
2 乾電池を入れる

極性表示+と-を確かめて、間違えないように入れます。



3 電池カバーを閉める

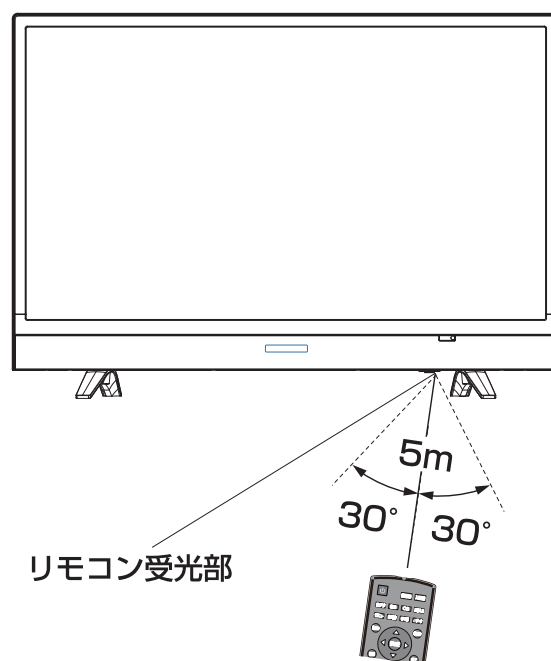
カバー下部の突起をリモコン本体のみぞに差し込んでパチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。



- 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら2個とも新しい乾電池と交換してください。
- 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

リモコンの使用範囲について

- リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用します。
- リモコン受光部に強い光を当てないでください。強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。
- リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 動作しなかったり、動作しにくくなったりします。



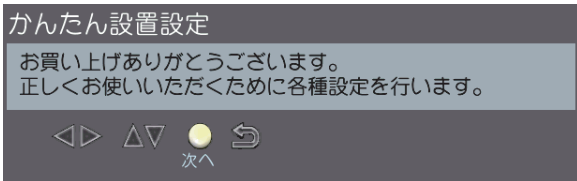
- リモコン受光部から
距離5m以内
角度左右30°以内、上下20°以内
- 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。

「かんたん設置設定」をする

「かんたん設置設定」について

- B-CASカードが正しく挿入されていないと「かんたん設置設定」ができません。あらかじめご確認ください。
- 「電波の状態が良くありません。」のメッセージが表示されたときは、受信状態が良くなってからやり直して下さい。

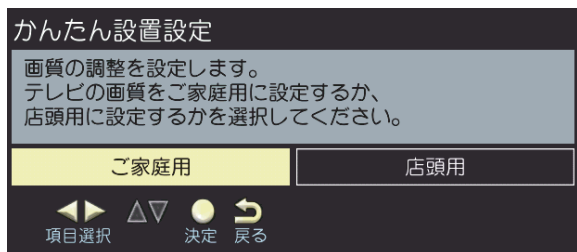
- 1 はじめて電源を入れたときに、「かんたん設置」画面が表示されます。内容を確認し、**決定**を押す



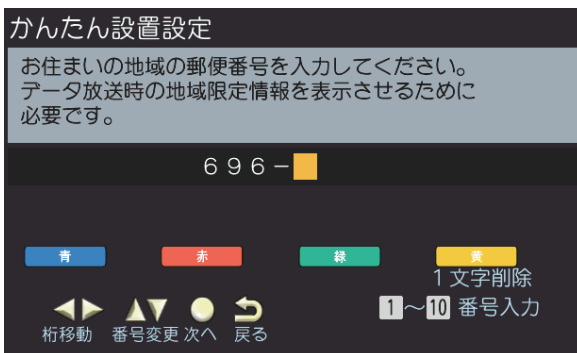
画面の説明を読んだら **決定** を押す

- 2 画面の表示に従って、ネットワークの接続、アンテナ線の接続、B-CASカードの挿入を確認し、**決定**を押す

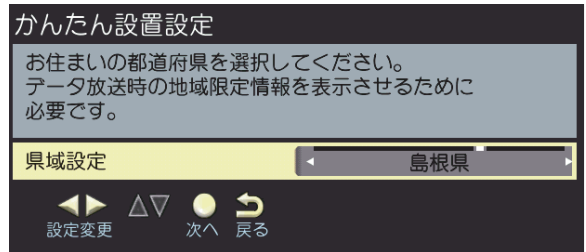
- 3 ◀▶ で、画質を選び、**決定**を押す



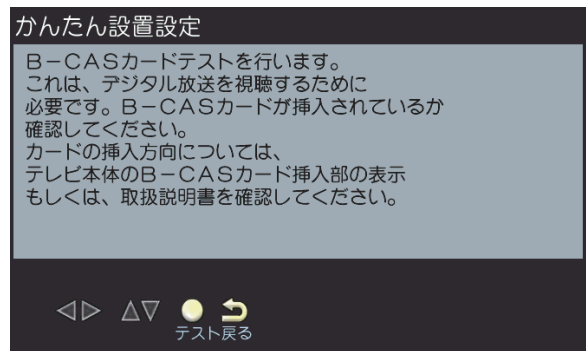
- 4 お住まいの郵便番号(7桁)を入力して、**決定**を押す



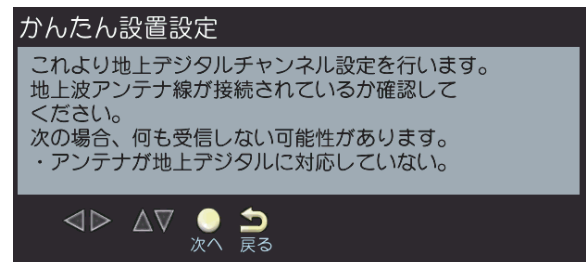
- 5 ◀▶ で、お住まいの都道府県を選び、**決定**を押す



- 6 画面の内容を確認し、**決定**を押すと、B-CASカードのテストを開始し、終了後「テストが正しく終了しました。デジタル放送やデータ放送を利用することができます。次へお進みください。」と表示されるので **決定** を押す



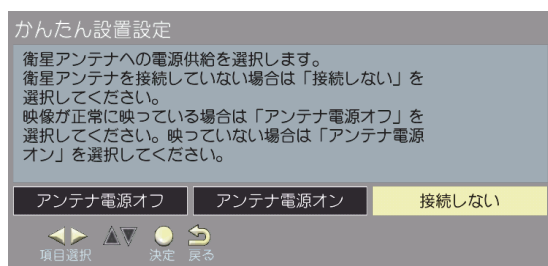
- 7 画面の内容を確認し、**決定**を押す



- 8 地域を選び、**決定**を押す

-
- 9 「UHF」か「全帯域」を選び、**決定**を押す
終了後、スキャンしたチャンネル一覧と、
アンテナレベルが表示される

-
- 10 画面の内容を確認し、◀・▶で「アンテナ
電源オフ」か「アンテナ電源オン」か
「接続しない」を選び **決定**を押す



-
- 9 「かんたん設定はこれで終わりです。」と
表示されたら、**決定**を押す

テレビ番組を楽しむ

電源を入れる／切る

リモコンの を押す
前面の電源ランプが緑色に点灯し、しばらくすると、前回視聴していたチャンネルが表示される

放送を選ぶ

地デジ・BS・CS で「地上デジタル放送」か「BS放送」か「CS放送」を選ぶ

チャンネル番号で選局する

1 ~ **12** でチャンネルを選ぶ

放送局番号で選局する

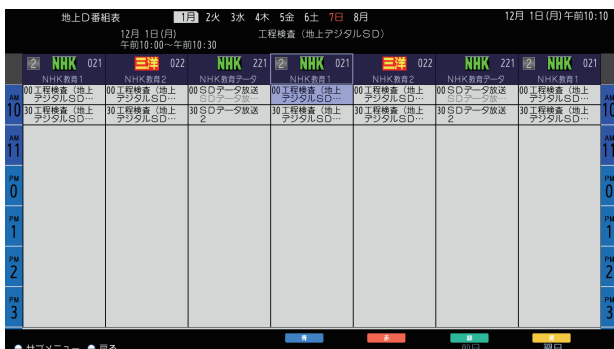
3桁入力 を押し、**1** ~ **12** で3桁のチャンネル番号を入力する



● **3桁入力** →「3桁入力選局」からでも入力できます。

番組表から選局する

1 **番組表** を押す



2 を押して現在放送中の見たい番組を選び、**決定** を押す

地上デジタル放送で枝番が異なる放送を選局する

● 地上デジタル放送では、お住まいの地域以外も受信可能な場合に、同じチャンネル番号が重複することがあります。この場合はチャンネル番号の次に付く枝番(011-2の「-2」など)で区別して選局できます。

1 枝番のついた放送局を見ているときに、**枝番** を押し、枝番選局を選ぶ



2 を押し、見たい番組を選び、**決定** を押す

● **緑** を押すと、選択中の放送局に「主選局」が表示されます。チャンネル番号入力時は、この「主選局」のある放送局が選局されます。

音量を調節する

で音量を調節する

一時的に音を消す

消音 を押す
元に戻すには、もう一度 **消音** を押す
 の「+」を押しても音が出る

● 画面右下に が表示されます。

メニューについて

- **メニュー**・**機能** を押してメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- メニューの内容は、場面によって変わります。
- 現在選択されている画面で設定できない項目は薄く表示されます。
- 設定メニュー中の操作方法は、原則的に以下の操作の組み合わせで行います。
 - ① **メニュー**・**機能** を押すと設定メニューが表示されます。
 - ② **△**・**▽** を押して項目を選び、**決定** を押します。
 - ③ **△**・**▽** または **◀**・**▶** を押し、項目を選択して、**決定** を押します。
 - ④ **戻る** を押すと1つ前の画面に戻ります。**メニュー**・**機能** を二度押すと、メニュー表示が消えます。

メニュー

メニュー を押すと、設定したい項目が表示される

機能 (一部省略しています)	
映像設定	映像に関する設定ができます。
音声設定	音声に関する設定ができます。
通信設定	ネットワークに関する設定ができます。
タイマー設定	タイマーの設定や電源の入、切の条件設定をします。
機器設定	本機に関する設定ができます。
機器情報	デコーダIDとバージョンを表示します。

設定メニュー

映像設定
音声設定
通信設定
タイマー設定
機器設定
機器情報

◀ ▶ ▲ ▼ ● ↺
選択 次へ 戻る

テレビを見る

サブメニュー

機能 を押すと、設定したい項目が表示される

- テレビ放送を見ているときや予約一覧画面表示中などに **機能** を押すと、今の画面に関連する機能を呼び出すことができます。

機能 (一部省略しています)	
HDMI外部機器に関する設定ができます。	
自動的に電源を切りたい時間を選びます。	
番組予約一覧が表示されます。	
機器設定→設置設定→チャンネル設定と同じです。	
お好みの放送局番号を 1 ~ 10 の数字ボタンを押して入力します。	
視聴制限をしている場合、暗証番号を入力すると、一時的に制限を解除します。(※1)	
見ている放送局のアンテナレベルを表示します。(※2)	
地上デジタル放送で枝番が異なる放送を選局します。	
信号切替に関する設定ができます。	
データ放送の表示を中止できるときに表示します。	

サブメニュー	
HDMI 機器設定	
オフタイマー	オフ
予約一覧	
チャンネル設定	
3桁入力選局	
視聴制限一時解除	
アンテナレベル	
枝番選局	
信号切替	
データ放送表示切	

◀ ▶ ▲ ▼ ● ↺
選択 次へ 戻る

※1) 視聴制限のない場合、この項目は表示されません。
 ※2) 地上デジタル視聴中では、さらに **決定** を押すと全放送局の受信状況一覧を表示します。

番組表で番組を探す

番組表を見る

- 番組表は、放送電波で送られてくる番組情報を基にして表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 直ぐに番組データを表記したい場合は、「番組データがありません。決定ボタンで取得します。」で **決定** を押すと表示されます。(一部番組を除く)
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。

番組表を押す

- △・▽・◀・▶ を押して番組を選択します。
- 放送の種類を変えるときは、**地デジ**、**BS**、**CS** を押します。
- **緑** を押すと、前日の番組を表示します。
- **黄** を押すと、翌日の番組を表示します。

地上D番組表 1月 2火 3水 4木 5金 6土 7日 8月 12月 1日(月) 午前10:10

12月 1日(月) 午前10:00~午前10:30 工程検査 (地上デジタルSD)

	2 NHK 021	三洋 022	NHK 221	2 NHK 021	三洋 022	NHK 221	2 NHK 021
	NHK教育1	NHK教育2	NHK教育データ	NHK教育1	NHK教育2	NHK教育データ	NHK教育1
AM 10	00 工程検査 (地上デジタルSD…)	00 工程検査 (地上デジタルSD…)	00 SDデータ放送 SDデータ放…	00 工程検査 (地上デジタルSD…)	00 工程検査 (地上デジタルSD…)	00 SDデータ放送 SDデータ放…	00 工程検査 (地上デジタルSD…)
	30 工程検査 (地上デジタルSD…)	30 工程検査 (地上デジタルSD…)	30 SDデータ放送 2	30 工程検査 (地上デジタルSD…)	30 工程検査 (地上デジタルSD…)	30 SDデータ放送 2	30 工程検査 (地上デジタルSD…)
AM 11							
PM 0							
PM 1							
PM 2							
PM 3							

● サブメニュー ● 戻る 青 赤 緑 黄
前日 翌日

テレビを見る

番組表から検索して番組を探す

1 **番組表** を押し、番組表が表示されたら **サブメニュー** を押す

2 「番組の検索」を選び、**決定** を押す



3 「ジャンル検索」を選び、**決定** を押す
△・▽ で「メインジャンル」を選び **決定** を押す



4 ▲・▼で「サブジャンル」を選び、決定を押す



5 見たい番組を選び、決定を押すと、番組内容が表示される

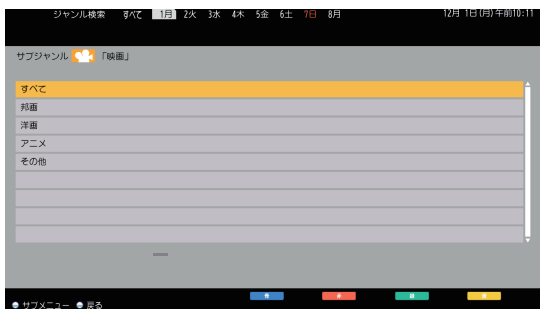
- 緑を押すと、前日の番組を表示します。
- 黄を押すと、翌日の番組を表示します。
- 「視聴予約」、「録画予約」(USBハードディスクを接続・登録していた場合)ができます。

番組の検索範囲を変更する

1 ジャンル画面または検索結果表示中に 機能を押す

2 ▲・▼で「表示内容」を選び、決定を押す

- 全チャンネル：現在放送中の全てのチャンネル
- 設定チャンネル：チャンネル設定で設定したチャンネル
- テレビのみ：テレビ放送（映像+音声）のチャンネル



番組データを取得する

- 地上デジタル放送の番組表で、表示されない放送局がある場合に、その局の番組情報を受信して表示します。
- 番組データの取得は、リモコンで電源を切ったとき、またはテレビ視聴中に自動的に行われます。最大約4時間かかります。テレビ本体の主電源を切らずに、必ずリモコンで電源をお切りください。

1 番組表の表示中に 機能を押す

2 「番組データ取得」を選び、決定を押す



番組の表示範囲を変更する

1 番組表の表示中に 機能を押す

2 ▲・▼で「表示内容」を選び、決定を押す

- 全チャンネル：現在放送中の全てのチャンネル
- 設定チャンネル：チャンネル設定で設定したチャンネル
- テレビのみ：テレビ放送（映像+音声）のチャンネル



表示していない番組を表示する

- 番組と番組の間に表示していない番組がある場合、青い線が表示されます。番組を一時的に表示し、内容などを見ることができます。

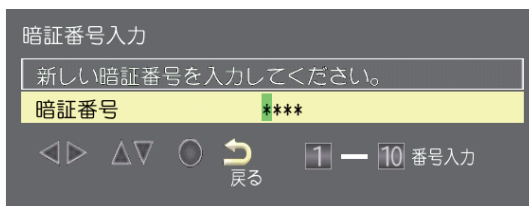
▲・▼・▲・▼で青い線を選ぶ

視聴制限を一時的に解除する

- 視聴制限をしている場合、暗証番号を入力すると、一時的に制限を解除します。

1 機能を押す

2 「視聴制限一時解除」を選び、決定を押す



- 視聴制限をしていない場合、視聴制限一時解除の項目は表示されません。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。
- データ放送は録画できません。

- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。



非リンク型サービス

放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。(文字表示は数秒で消えます)



暗号通信

本機はSSL (Secure Sockets Layer) 等の暗号通信に対応しています。そのサービスの際に、このアイコンが表示されます。

連動データ放送を楽しむ

◀▶を押し、もう一度 ▶◀を押すと、もとの画面に戻る

- データ放送を行っているチャンネルでのみ有効です。
- ▲▼◀▶を押して項目を選び、決定を押して、選択を決定できます。
- データ放送画面から、さらに別の画面へ移行することができます。画面上に青赤緑黄それぞれの情報へ移行するか表示されます。

双方向通信を行う

- LAN接続をしていて、双方向通信が行われているチャンネルを受信すると、双方向通信の画面が表示されます。

▲▼◀▶を押し、画面を切り替えたり、番組によっては青赤緑黄を押すことで、放送局へデータを送信することが出来る

データ放送の表示を切る

- データ放送の表示を中止します。

1 設定を押す

2 「データ放送表示切」を選び、決定を押す

独立データ放送を楽しむ

番組の表示範囲を「全チャンネル」にすることで、▲▼、番組表から選局することができる
またCH番号入力で選局することもできる

- 「映画」や「スポーツ」など、ジャンル別に番組を探すことができます。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます。(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応していません)

■ 双方向サービスについて

- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにはできないことがあります。
- テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

便利な機能を使う

チャンネル情報を表示する

- チャンネル情報を表示させます。

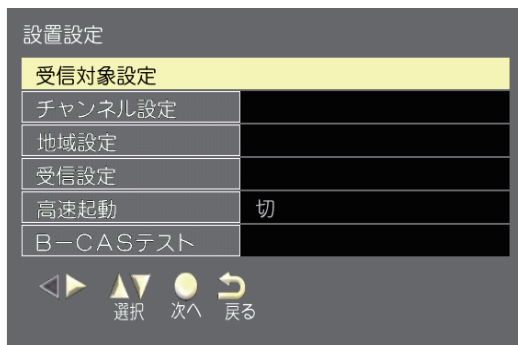
画面表示 を押す

もう一度、二度 **画面表示** を押すと、表示が消える

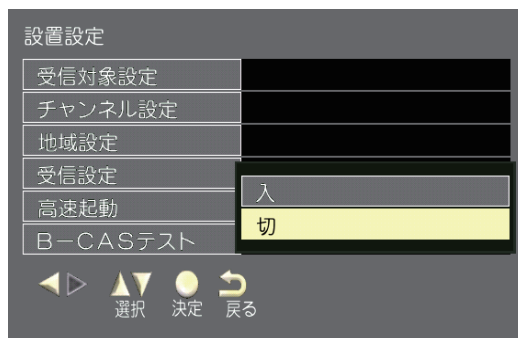
高速で起動画面を表示する

- 「入」 にすると、リモコンで電源「切」の状態から「入」にして映像が表示されるまでの時間を短縮することができます。

1 **X-1** を押し、「機器設定」→「設置設定」を選び、**決定** を押す



2 「高速起動」→「入」を選び、**決定** を押す



音声を切り替える

1 **音声切替** を押し、音声を切り換えることができる

- 画面右下に **音声切替** **ステレオ** が表示されます。
- 音声の名称が放送局から送られている場合は、その名称を表示します。
- 切り換えできる音声があるときのみ、切り換えできます。

視聴しない放送を操作できないようにする

- 「使わない」 にすると、リモコンの放送切換ボタン (**BS**・**CS**) で、操作できないように設定します。

1 **X-1** を押し、「機器設定」→「設置設定」を選び、**決定** を押す

2 「受信対象設定」を選び、**決定** を押す
操作できないように設定したい放送「BS」か「CS」を選び、「使わない」を選び、**決定** を押す

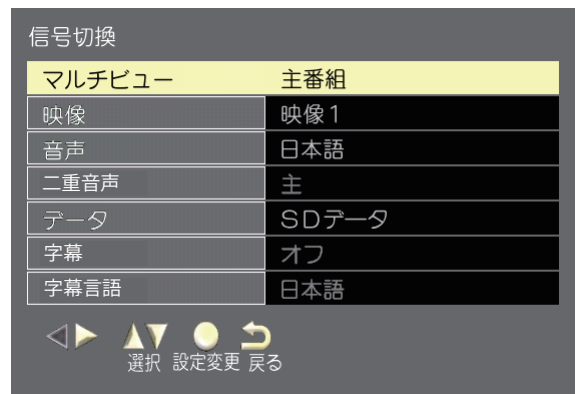


字幕の表示、非表示を切り替える

- 「オン」 にすると、字幕を表示します。

1 **切替** を押す

2 「信号切換」を選び、**決定** を押す。



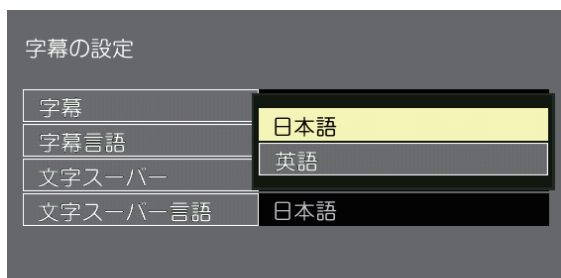
3 「字幕」を選び、**決定** を押す

4 「オン」か「オフ」を選び、**決定**を押す

- **X・C・U** → 「機器設定」 → 「表示の設定」 → 「字幕の設定」から行うこともできます。
- 字幕が「オン」でも、字幕のない番組や設定した言語の字幕がない場合、字幕は表示されません。

字幕の言語を切り替える

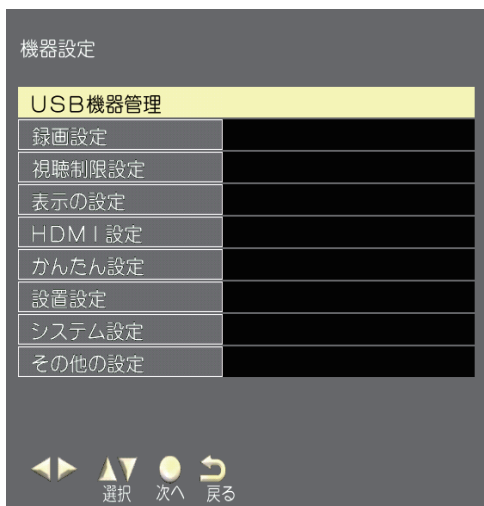
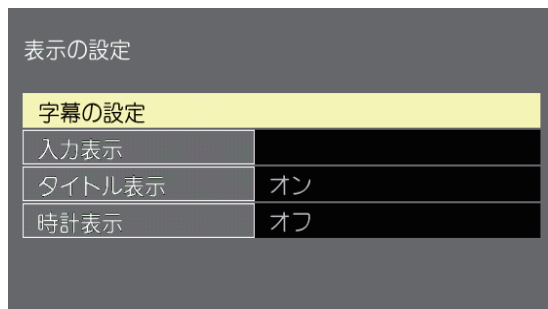
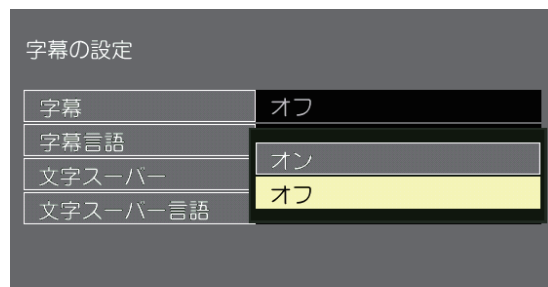
- 字幕で表示したい言語を選択します。

1 **切替**を押す2 「信号切替」を選び、**決定**を押す3 「字幕言語」を選び、**決定**を押す。4 「日本語」か「英語」を選び、**決定**を押す

- **X・C・U** → 「機器設定」 → 「表示の設定」 → 「字幕の設定」から行うこともできます。

字幕スーパーを切り替える

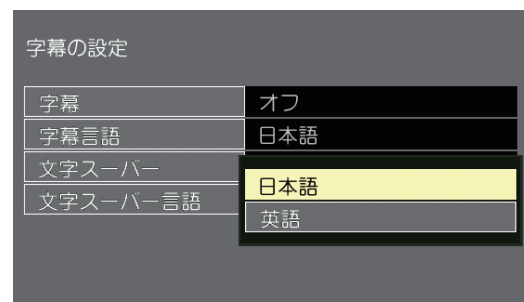
- 「オン」にすると、字幕スーパーを表示します。
- 文字スーパーとは、セリフを文字に起こして画面に入れ込むことです。字幕とは状況の説明(たとえばドアをたたく音など)とセリフを含んで、画面に文字を入れ込むことです。

1 **X・C・U** → 「機器設定」を選び、**決定**を押す2 「表示の設定」を選び、**決定**を押す3 「字幕の設定」 → 「文字スーパー」を選び、**決定**を押す4 「オン」か「オフ」を選び、**決定**を押す

- 文字スーパーが「オン」でも、文字スーパーのない番組や設定した言語の文字スーパーがない場合、文字スーパーは表示されません。

字幕スーパー言語を切り替える

- 字幕で表示したい言語を選択します。

1 **X・C・U** → 「機器設定」を選び、**決定**を押す2 「表示の設定」を選び、**決定**を押す3 「字幕の設定」 → 「文字スーパー言語」を選び、**決定**を押す4 「日本語」か「英語」を選び、**決定**を押す

放送中の画面を静止する

- 放送番組の視聴中に画面を静止させることができます。(音声は放送中の状態のまま)。

一時停止/静止
■ ■ を押す

もう一度 一時停止/静止 ■ ■ を押すと、放送中の画面に戻る

- 約10分間、本機の操作をしないでいると、静止は解除されます。
- 視聴予約や録画予約が開始されると、静止は解除されます。

時計の表示を設定する

- 「オン」にすると、画面の左下に時刻を表示します

1 **X**メニュー → 「機器設定」 を選び、**決定** を押す

2 「表示の設定」 を選び、**決定** を押す

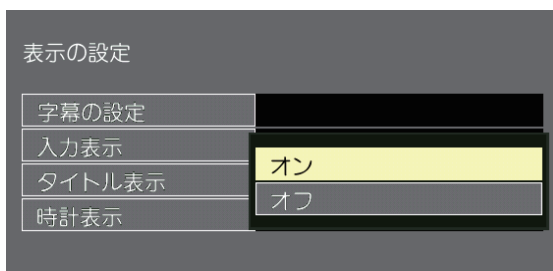
タイトルの表示を設定する

- 「オン」にすると、チャンネルを変えたときなどに、番組のタイトルなどを表示します。「オフ」にすると、タイトルを表示しません。(チャンネル番号は表示します)「オフ」に設定しても、[画面表示]を押したときは、タイトル表示します。

1 **X**メニュー → 「機器設定」 を選び、**決定** を押す

2 「表示の設定」 を選び、**決定** を押す

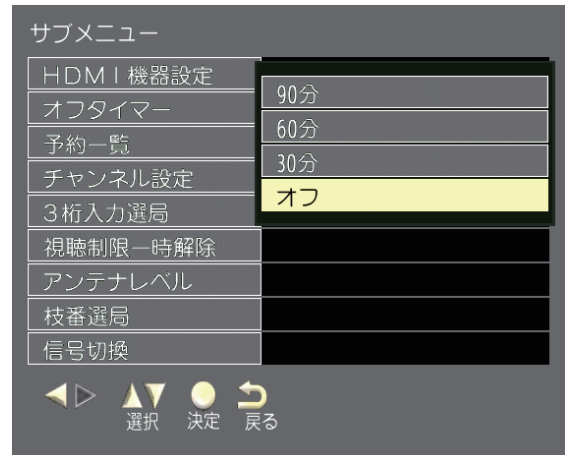
3 「タイトル表示」 を選び、「オン」か「オフ」 を選び、**決定** を押す



オフタイマー機能

- 本機の電源を切るまでの時間を設定します。

Xメニュー → 「オフタイマー」 を選び、△・▽ で 「オフ」か「30分」か「60分」か「90分」 を選び、**戻る** を押す



無操作時の電源切設定をする

- 約4時間以上、本機の操作をしないとき、自動的に電源を切る。「無操作電源オフ」を選び、「入」か「切」を選び、**決定** を押す。

無信号時の電源切設定をする

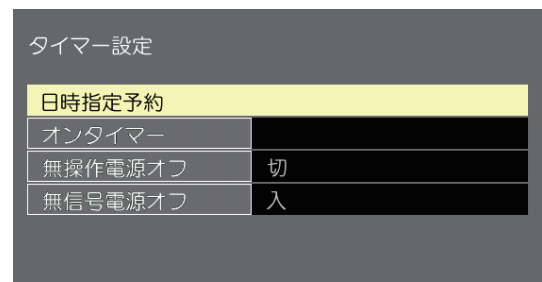
- 外部入力選択中に、約10分間無信号状態が続くと自動的に電源を切ります。「無信号電源オフ」を選び、「入」か「切」を選び、**決定** を押す。
- 無信号オフは、ビデオがブルーバックのときや再生が終了した接続機器から映像信号が出力されているときは働きません。また、入力切換でテレビに設定しているときなども働きません。ただしアンテナが接続されていない場合や放送休止の場合は働きます。

オンタイマー機能

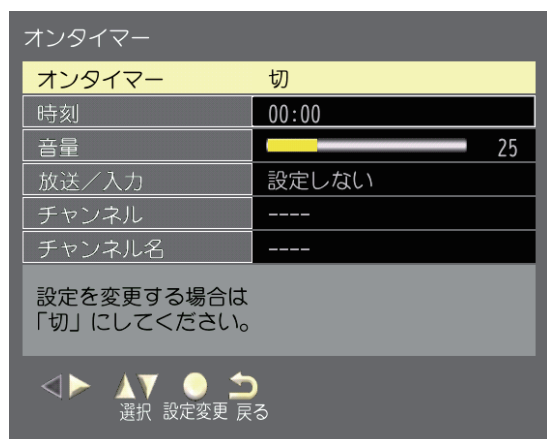
- 時刻、音量、外部入力、放送/入力・チャンネルを指定して電源を自動的に入れることができます。

1 **X**メニュー → 「タイマー設定」 を選び、**決定** を押す

2 「オンタイマー」 を選び、**決定** を押す



3 「オンタイマー」を「切」を選び、**決定**を押す



番組名を表示する

- 「チャンネル」にて設定したチャンネルの放送局名を自動的に表示する。
- オンタイマーの設定時刻になると電源が入り、自動的に60分のオフタイマーが働いて、電源が切れます。続けてご覧になる場合は、電源が切れる前にオフタイマーを切にしてください。
- オンタイマーの設定時刻になるとオンタイマーの設定は切になります。

4 以下の通りお好みで調整することができる各項目を設定し、最後に「オンタイマー」で「入」を選び、**決定**を押す

時刻の設定をする

- 電源が入る時刻を設定する。
「時刻」を選び、**1**~**10**で希望の時刻を選び、△・▽を押す。

音量の設定をする

- 電源が入ったときの音量を設定する。
「音量」を選び、△・▽でお好みの数値を選び、**決定**を押す。

どの放送入力を表示するか設定をする

- 電源が入ったとき、どの放送/入力を表示するかを設定する。
「放送/入力」を選び、「設定しない」か「地上D」か「BS」か「CS」か「HDMI」か「ビデオ」を選び、**決定**を押す。
- 電源を切る前まで見ていた放送、または外部入力を表示させたい場合は「設定しない」にする。

どのチャンネルを表示するか設定をする

- 放送/入力で放送を選択した場合は、電源が入ったときのチャンネルを設定する。
「チャンネル」を選び、△・▽で希望のチャンネルを選び、**決定**を押す。
- 放送/入力を設定しない、外部入力にしたときは「----」を表示する。

文字を入力する

- HDD表示名変更などで文字入力画面が表示されます。
(USB/ハードディスクの表示名変更方法は「USB/ハードディスクの表示名を変更する」をご覧ください。)

文字を入力する

1 1 ~ 12 で文字を入力する

- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

入力例：がっこう

→ **2**、**10**、**4**(6回)、**2**(5回)、**1**(3回)
が っ こ う

- 文字に続けて**10**を押せば、濁点(°)や半濁点(゜)の入力ができます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に▷を押します。

入力例：あい → **1**、▷ **1**(2回)
あ い

- 入力文字の切り替えを行うには、**緑**を押します。
- 文字を挿入するには、挿入する場所を△▽◁▷で選んで入力します。
- 入力文字の一文字削除を行うには、**黄**を押します。

2 以下の操作で文字を確定する

- 漢字に変換しないときは、**決定**を押す
- 漢字に変換するときには、▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら**決定**を押す
 - 希望する漢字に変換されない場合は、変換する範囲を◀▶で変え、▲▼で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら、**決定**を押す

- 文字入力画面が表示される前の操作場面に戻ります。

文字入力設定をする

1 メニュー → 「機器設定」 → 「その他の設定」 → 「文字入力設定」を選び、**決定**を押す

2 以下の通りお好みで調整することができる

- 入力方法の設定をする。
「入力方法」を選び、「リモコンボタン」か「画面キーボード」を選び、**決定**を押す。
リモコンボタン：リモコンの数字ボタンを使い、携帯電話と同じような操作で入力します。
画面キーボード：画面上にキーボードを表示して文字や項目を選び、入力します。

- 変換方式の設定をする。
「変換方法」を選び、「通常方式」か「予測方式」を選び、**決定**を押す。
通常方式：読みを入力した後、ボタンを押して変換候補を表示したいときに選択します。
予測方式：文字の入力で自動的に変換候補を表示したいときに選択します。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	かな	カナ	英数	数字
1	あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お→1	ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ→1	記号→1	1
2	か→き→く→け→こ→2	カ→キ→ク→ケ→コ→2	a→b→c →A→B→C→2	2
3	さ→し→す→せ→そ→3	サ→シ→ス→セ→ソ→3	d→e→f →D→E→F→3	3
4	た→ち→つ→て→と →つ→4	タ→チ→ツ→テ→ト →ツ→4	g→h→i →G→H→I→4	4
5	な→に→ぬ→ね→の→5	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ→5	j→k→l →J→K→L→5	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ→6	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ→6	m→n→o →M→N→O→6	6
7	ま→み→む→め→も→7	マ→ミ→ム→メ→モ→7	p→q→r→s →P→Q→R→S→7	7
8	や→ゆ→よ →や→ゆ→よ→8	ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ→8	t→u→v →T→U→V→8	8
9	ら→り→る→れ→ろ→9	ラ→リ→ル→レ→ロ→9	w→x→y→z →W→X→Y→Z→9	9
10	°→°→0 もしくは 記号→0 ※1	°→°→0 もしくは 記号→0 ※1	記号→0	0
11	わ→を→ん→わ→ー	ワ→ヲ→ン→ワ→ー	スペース	*
12	逆方向へ入力 ※2	逆方向へ入力 ※2	逆方向へ入力 ※2	#

- 最後の候補まで行くと、次は最初の候補に戻ります。
- ※1 「°」「°」適用文字の場合、「°→°→0」となります。
「°」「°」適用外文字の場合、「記号→0」となります。
- ※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

文字切換(入力文字種の切り換え)

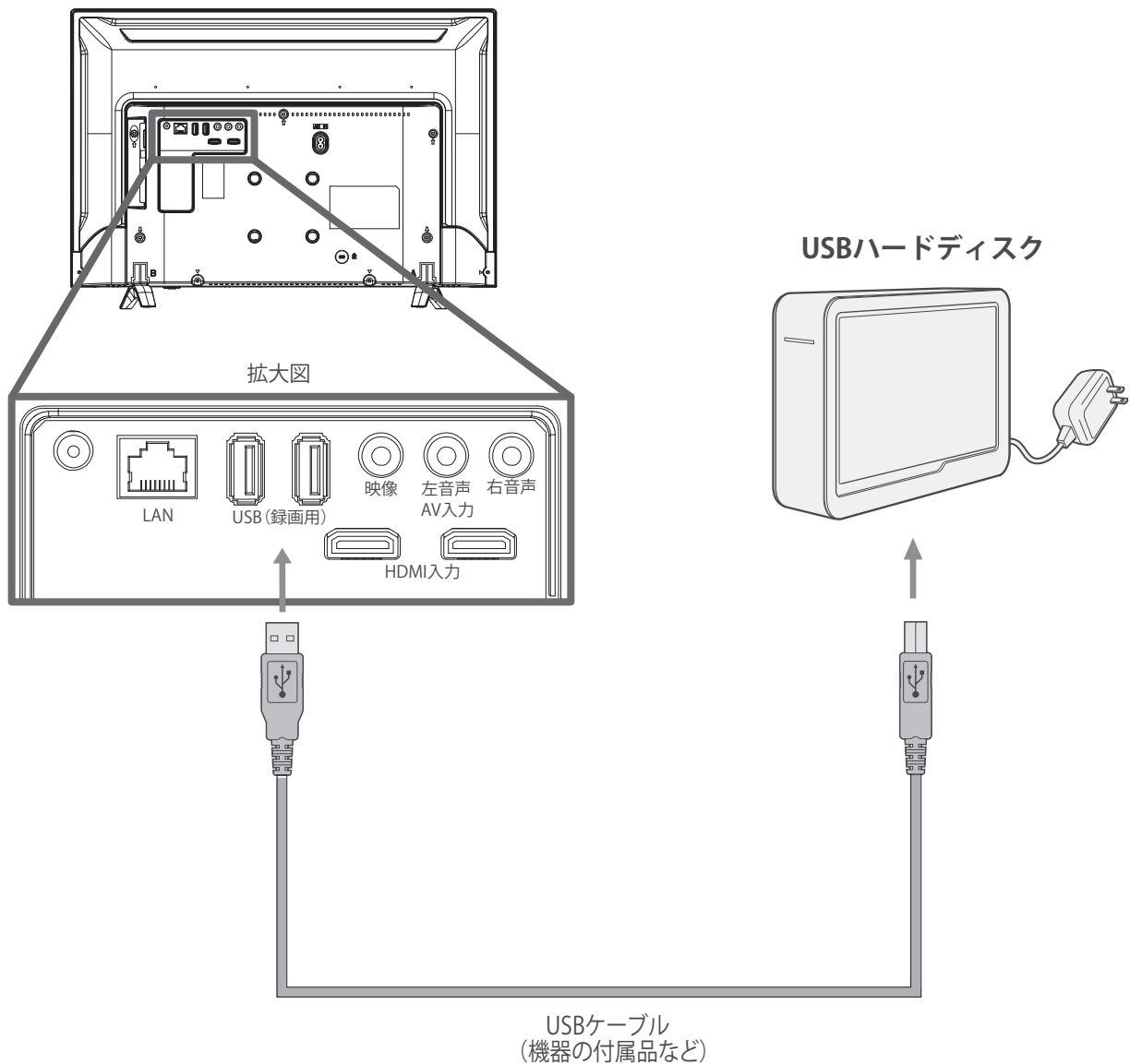
「かな」	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	カタカナを入力できます。
「英数」	英数字を入力できます。
「数字」	数字を入力できます。

- 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。

録画・予約機能について

USBハードディスクを接続する

- USBハードディスクやUSBハブは専用のACアダプターを接続してご使用ください。本機で接続確認済の機器でもACアダプターを接続しない場合は動作保証できません。
- USBハードディスクは、USB (録画用) 端子に接続します。









録画機器を使う

- USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。本機に接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存は保証できません。あくまでも一時的な保存・再生機能としてご使用下さい。
- パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- 本機で使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組は全て消去されます。USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないで下さい。録画が消えたり、USBハードディスクが故障したりする原因となります。
- USBハードディスクでの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は正しく保存されません。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。
- USBハブを経由して本機にUSBハードディスクを接続する場合は接続認識しない場合があります。その際は、直接USBハードディスクを本機に接続してください。
- 接続確認済機器でも、すべての動作を保証するものではありません。

USB ハードディスクの設定をする

新しいUSBハードディスクを登録する

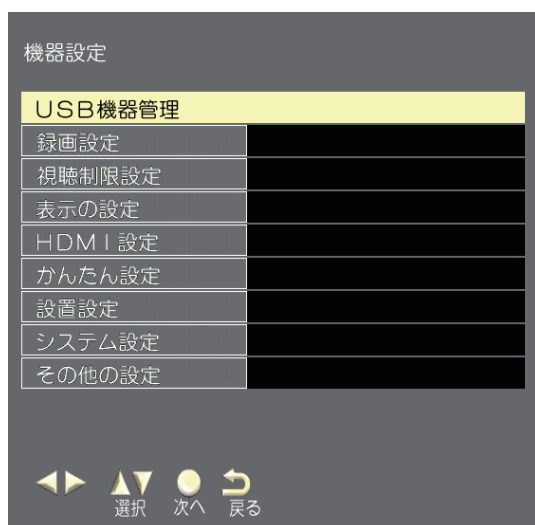
1 「USB接続確認」の画面が表示されたら、  で、「はい」を選び、 を押す


2 登録確認の画面が表示されたら、「はい」を選び、 を押す
フォーマットの確認画面が表示されたら、「はい」を選び、 を押す
USBハードディスクをフォーマット(初期化)し、登録する
表示名変更の画面が表示されたら、「はい」か「いいえ」を選び、 を押す

- USBハードディスクの表示名変更方法は「USBハードディスクの表示名を変更する」をご覧ください。


USBハードディスクの設定をする


1  → 「機器設定」を選び、 を押す



2 「USB機器管理」を選び、 を押す
USB機器登録、接続状況一覧が表示される



3 接続しているUSBハードディスクを選択し、 を押す
メーカー名、モデル名、表示名、容量の確認ができる


-  を押し「USB機器管理」画面を表示することもできます。

接続したUSBハードディスクの取り外し方

- 本機に接続したUSBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりする場合は、先に以下の操作を行ってください。

1  → 「機器設定」を選び、 を押す


2 「USB機器管理」を選び、 を押す


3 接続しているUSBハードディスクを選び、 を押す
しばらくすると「この機器は安全に取り外しできます」と表示されるので、安全に接続ケーブルを抜いたり、電源を切ることができる

USBハードディスクの表示名を変更する

1  → 「機器設定」を選び、 を押す

2 「USB機器管理」を選び、 を押す

3 接続しているUSBハードディスクを選び、 を押す
リモコンの数字ボタンを使用したり、画面キーボードを表示させ、文字を入力することができる

-  → 「機器設定」 → 「その他の設定」 → 「文字入力設定、変換方式」を選択し、入力方法などの設定ができます。

USBハードディスクの休止状態の設定をする

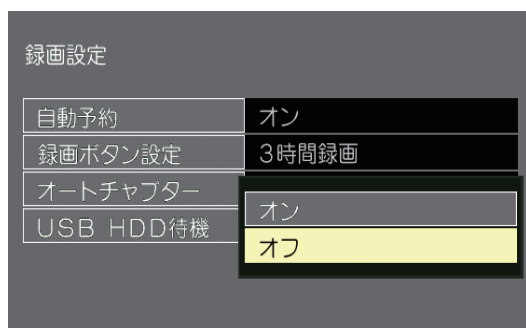
- 「オフ」にすると、USBハードディスクを休止状態にします。（USBハードディスクの消費電力を低減しますが、録画・再生などの準備にかかる時間が長くなります。）

1 **メニュー** → 「機器設定」を選び、**決定**を押す

2 「録画設定」を選び、**決定**を押す

3 「USB HDD待機」を選び、**決定**を押す

4 「オン」か「オフ」を選び、**決定**を押す



USBハードディスク登録を削除する

1 **メニュー** → 「機器設定」を選び、**決定**を押す

2 「USB機器管理」を選び、**決定**を押す

3 接続しているUSBハードディスクを選び、**黄**を押す



4 画面の内容を確認し、「はい」を選び、**決定**を押す

5 フォーマット確認画面の内容を確認し、「はい」を選び、**決定**を押す

- 登録を削除したUSBハードディスクの番組は再生できません。また、再度登録するとフォーマットを行い、USBハードディスク内のすべてのデータを消去します。登録を削除すると、それまでに録画した番組は再生できなくなりますので、ご注意ください。再度登録するには、一度USBハードディスクを取り外し、もう一度接続し直すか、本機の電源を一度切り、再度電源を入れると登録画面が表示されます。「USB機器管理」画面でモードが「未登録」の場合、その機器を選択しても登録画面が表示されます。

録画の基本的な設定をする

録画について

- 万一、何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、内容(データ)の保証や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

デジタル放送の著作権保護について

- 本機では著作権保護により、コピー禁止の情報が付加されている放送番組や映像ソフトは、録画することができません。

デジタル放送の著作権保護について

- 電源を押してから、USBハードディスクが起動するまで、USBハードディスクに録画したり、入っている録画番組にアクセスすることはできません。
- 本機は、デジタル放送を2番組同時に録画することやラジオ放送、独立データ放送の録画はできません。
- 録画を一時停止することはできません。
- テレビ放送に連動したデータ放送は録画されますが、録画した後で再生した場合、データ放送の内容によっては操作できない場合があります。
- デジタル放送の受信状態が悪い(画面がきちんと表示されない、音声のとぎれる)場合、録画を行うと、番組の先頭部分や途中部分が切れたりすることがあります。
- 録画中に録画が禁止されている番組または映像になると、録画が停止します。
- 保存できる録画番組の数は、最大3,000個です。
- 停電などで録画が中断した場合、再び電源が入っても録画の再開はされません。また録画された番組を正しく再生できない場合があります。
- 録画中はメニュー、番組表、録画番組の画面を表示するのに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

番組を録画する

放送中の番組を予約する

1 録画したいチャンネルを選ぶ前に残量に余裕があると分かっている場合、2をとばし、**録画**を押しても録画ができる

2 **残量**を押す
「USB機器管理」画面で録画可能時間を確認する



3 **録画**を押す
録画が開始される

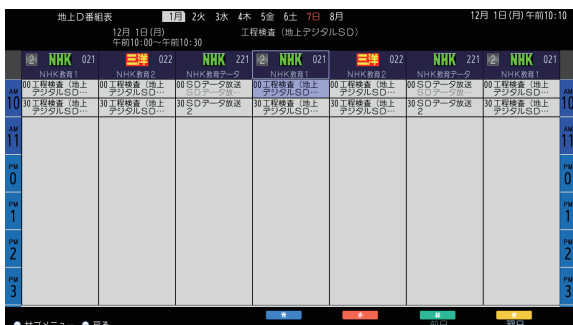
録画ボタン設定をする

- 録画ボタン設定で設定した時間（「番組終了」または「3時間録画」）になると自動的に停止します。
Xを押し、「機器設定」→「録画設定」→「録画ボタン設定」を選び、「番組終了」か「3時間録画」を選び、**決定**を押す。
- 番組終了：番組の終わりまで録画します。
- 3時間録画：録画開始から3時間で終了します。

番組表で簡単に予約する

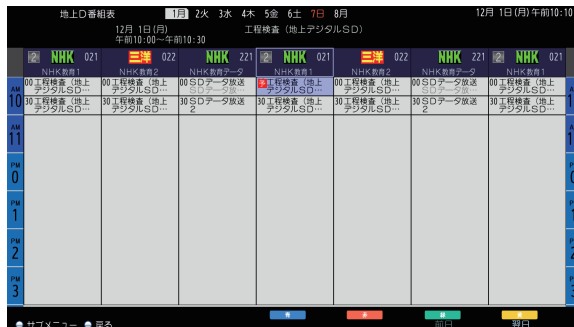
- まだ放送が始まっていない番組の録画予約ができます。予約できる番組は最大で64番組です。

1 「番組表」から、予約したい番組を選び**決定**を押す



2 「録画予約」を選び、**決定**を押す

3 「予約する」を選び、**決定**を押す
予マークが録画予約した番組に付く



- 予約実行時にはB-CASカードが挿入する必要があります。
- USBハードディスクに電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。
- USBハードディスクの残量が足りない場合は、録画できません。事前にご確認ください。
- 録画予約実行中に**停止**を押すと、途中で録画を中止することができます。
- 録画中にリモコンの電源を切り、スタンバイ状態でも録画を続けます。
- 予約番組が重なっていると予約重複のメッセージを表示します。「はい」を選択し、**決定**を押すと「予約重複確認」画面を表示します。削除/取り消したい番組を選び、**黄**を押して重複を解除してください。
- 外部入力からの映像(番組)は録画できません。

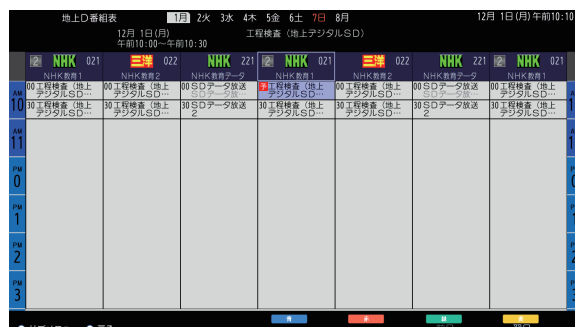
毎週予約する

- 次回以降の同じ曜日、同じ時間帯の番組を自動的に予約設定します。

1 「番組表」から、予約したい番組を選び**決定**を押す


2 「録画予約」を選び、**決定**を押す

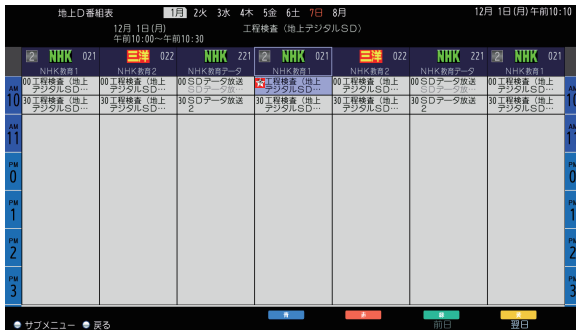
3 「毎週予約する」を選び、**決定**を押す
予マークが録画予約した番組に付く



連続ドラマを予約する

- 放送日や放送時間が一定ではないシリーズ番組を、次回以降の放送から本機が自動的に毎回予約設定します。(番組表データの放送チャンネル・時間帯・番組名などから次の放送を自動検索します。)

- 1 「番組表」から、予約したい番組を選び、**決定**を押す
- 2 「録画予約」を選び、**決定**を押す
- 3 「自動録画する」を選び、**決定**を押す
- 4 画面の内容を確認し、「はい」を押す
 マークが録画予約した番組に付く



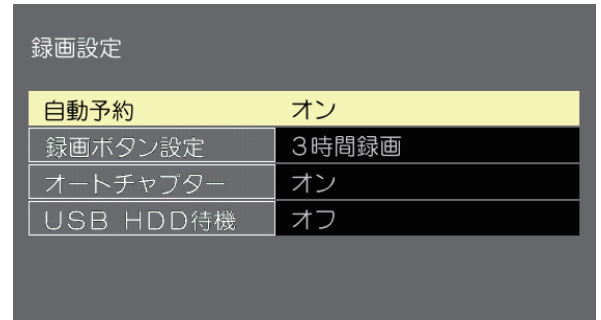
自動録画について

- 自動録画予約設定は最大24件まで予約できます。
- 番組タイトルが極端に短い場合は設定できないことがあります。
- 番組名が前回と大きく異なる場合は、次回の放送を検索できないことがあります。
- 1つの自動録画予約設定では、1日に1回だけ予約されます。(同じ番組が1日に複数回放送される場合でも、1回だけ予約設定します。)次回の放送開始時間が90分以上前後した場合は、予約設定されない場合があります。
- 留守などで不在にする場合など、**メニュー** → 「機器設定」 → 「録画設定」 → 「自動予約」 → 「オフ」を選択し、自動録画を一時的に止めることができます。
- 「毎週予約する」または「自動予約する」でUSB/ハードディスクに録画された番組は、「録画一覧」画面でまとめ番組として表示します。
- 録画機器の状態により、次回の予約が登録されなかったり実行できない場合があります。(起動/終了処理中など)次回の予約が設定されるまで、最大1日かかる場合があります。
- 予約の確認や取り消しについては **35** を、予約の優先順位については **37** をご覧ください。

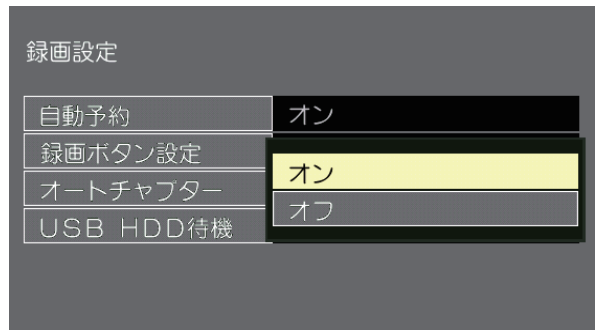
オートチャプター設定をする

- 「オン」にすると、デジタル放送の録画のとき、自動で番組の切れ目(無音部分)にチャプターマークを付けることができます。

- 1 **メニュー** → 「機器設定」を選び、**決定**を押す
- 2 「録画設定」を選び、**決定**を押す



- 3 **△/▽** を押し、「オートチャプター」を選び、**決定**を押す
- 4 「オン」か「オフ」を選び、**決定**を押す



日時・ジャンルを指定して予約をする

日時を指定して予約をする

1 **メニュー** → 「タイマー設定」を選び、**決定**を押す

2 「日時指定予約」を選び、**決定**を押す

3 各項目を設定し、「予約する」を選び、**決定**を押す

- 予約方式：録画
- 放送種別チャンネル：録画したい放送/チャンネルを設定する
- 曜日/日：録画する日付を設定する
- 開始時刻：録画したい番組に開始時刻を設定する
- 終了時刻：録画したい番組の終了時刻を設定する
- 録画機器：録画機器の種類を設定する
- その他の設定：録画番組のプロテクト（保護）を設定する

時間指定予約	
予約方式	見るだけ 録画
放送種別/チャンネル	地デジ 021
曜日/日	12月1日(月)
開始時刻	10:11
終了時刻	--
録画機器	--
その他の設定	
予約せず戻る	
予約する	

設定変更項目選択 戻る

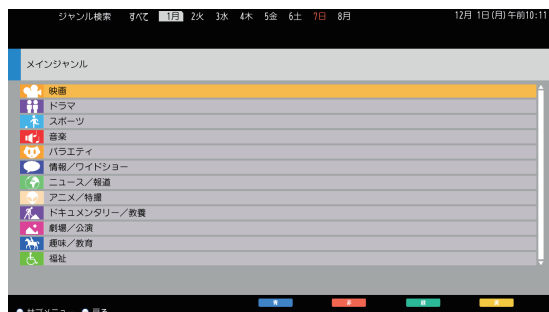
- 「録画予約設定」の詳細設定→「時間指定予約」からも日時指定予約を選択できます。
- 時間指定予約は、最大1年先までの予約や毎日、毎週などの繰り返し予約ができます。
- 「予約せず戻る」は、予約を止めるときに選択します。

ジャンルを指定して予約をする

1 **番組表** を押し、番組表が表示されたら **メニュー** を押す

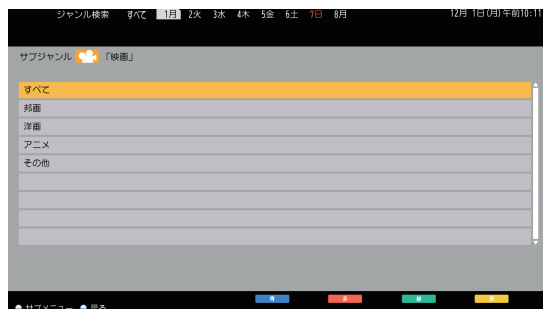
2 「番組の検索」を選択し、**決定** を押す

3 **△・▽** で「メインジャンル」を選び **決定** を押す



4 **△・▽** で「サブジャンル」を選び、**決定** を押す

- **緑** を押すと、前日の番組を表示します。
- **黄** を押すと、翌日の番組を表示します。



5 録画予約したい番組を選び、**決定** を押し、「録画予約」を押す

録画予約の確認や設定変更をする

予約を確認する

1 **Fn** → 「予約一覧」 を選び、**決定** を押す

- **赤** を押すと、自動録画に設定している予約のみ確認ができます。**青** を押すと全ての予約一覧表示に戻ります。



- 予約番組の場合は右側に **録画** **USBHDC** マークが付きま

2 **△**・**▽** を押し、変更したい予約番組を選び、**決定** を押す3 「設定変更」 を選び、**決定** を押す4 「毎週予約に変更する」か「自動録画予約に変更する」か「詳細設定」を選び、**決定** を押す5 詳細設定で変更した場合は「修正する」を選び、**決定** を押す。

- 予約重複のメッセージを表示したとき、「はい」を選択し、**決定** を押すと「予約重複確認」画面で重複した予約番組を削除できます。毎週予約の番組を選び「設定変更」を選択し、を押したときは、「時間指定予約」画面を表示します。

予約を削除する

1 **Fn** → 「予約一覧」 を選び、**決定** を押す2 **△**・**▽** を押し、削除したい番組を選び、**黄** を押し、「はい」を選び、**決定** を押す

- 予約が実行された番組には「済」が付きます。「済お知らせ」は、予約実行の中止、時間の変更、指定の信号で録画できない、録画機能が正しく動作していないときに付きます。「済」が付いた番組履歴を削除するには、番組を選択して、**決定** を押します。
- 全履歴の削除をするには、「予約一覧」画面で **Fn** を押し、「全履歴削除」を選択し、**決定** を押し、「はい」を選択し、**決定** を押します。
- 実行中の予約は **黄** を押し、「はい」を選択し、**決定** を押すと録画を停止します。

予約の変更をする

1 **Fn** → 「予約一覧」 を選び、**決定** を押す

予約の詳細設定をする

1 「番組表」から、予約したい番組を選び **決定** を押す2 「録画予約」 を選び、**決定** を押す3 「詳細設定」 を選び、**決定** を押す4 各項目を設定し、**戻る** を押す

- その他の設定：録画番組のプロテクト「する」か「しない」を選ぶ。
- 時間指定予約へ：「はい」を選ぶと時間指定予約の画面が表示され、日時を指定し、録画予約ができる。

5 「予約する」を選び、**決定** を押す

番組の視聴予約をする

番組の視聴予約をする

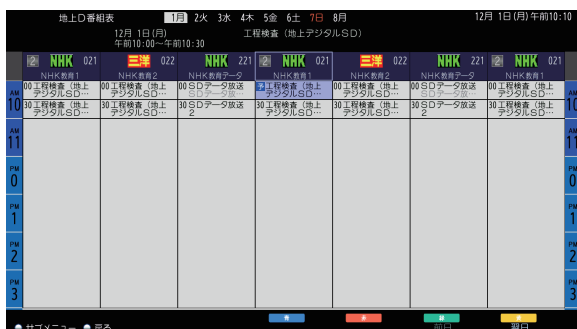
- まだ放送が始まっていない番組を視聴予約することができます。テレビを見ているときに、開始時刻になると、予約されたチャンネルを選局します。

「番組表」から、予約したい番組を選び、

決定を押す

「視聴予約」を選び、**決定**を押す

予マークが視聴予約した番組に付く



- 電源を切って、テレビをご覧になっていない場合は、視聴予約は実行されません。

番組の視聴予約を削除する

1 **予約一覧** → 「予約一覧」を選び、**決定**を押す



- 予約番組の場合は右側に **見るだけ** マークがつきます。

2 **△▽**を押し、予約した番組を選ぶ

- **黄**を押すと、予約の削除/取り消しができます。
決定を押すと、番組のお知らせが表示されます。
青：前項、**赤**：後項を押して、番組の内容・属性を表示することもできます。
- 番組表や「番組表から番組を探す」から、予約登録した番組を選択し、予約削除することもできます。
予約一覧表示で **予約一覧** を押すと、全履歴の削除ができます。

予約・録画の優先順位と予約の動作について

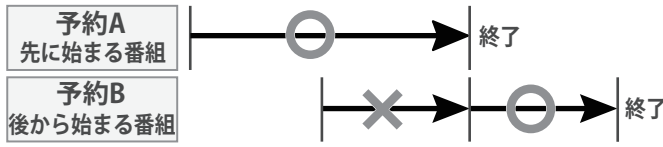
予約・録画の優先順位について


「録画予約」が最優先されます

- 録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先され、他の録画や視聴予約は中止または取り消しになります。

「録画予約」の最優先順

- 予約開始時間が早い番組を優先して録画します。



- 「先に始まる番組」の終了時刻と、「後から始まる番組」の開始時刻が同じ場合は、「先に始まる番組」の終わりの部分が約1分録画されません。
 - ・ 上記以外の場合は予約一覧の順に録画します。
 - ・ 録画予約での録画は、を押して録画するより優先します。

録画した番組を再生する

● USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。

再生の基本操作

1 **録画**を押す



2 **△▽**を押し、見たい録画番組を選び、**決定**を押すと再生が開始される
再生を停止する場合は、**停止**を押す
放送に戻るには**戻る**を押す

- **dデータ**を押すと、選択した番組の情報を表示します。
- 「曜日/日」を「毎日」や「毎週」などに設定して繰り返し録画した番組は、「録画一覧」画面で「まとめ」番組として表示します。
- 未視聴の録画番組には「NEW」が付きます。
- 前回、再生を途中で停止したUSBハードディスクの録画番組を再生する場合、「続きから再生」、「最初から再生」のいずれかを選択することができます。

録画番組の再生中にできるリモコン操作



ボタン	内容
再生 	録画番組の再生を開始します。 再生中に3秒以上押すと1.3倍速再生になります。
一時停止/停止 	再生中に押すと一時停止になります。 ・一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
停止 	再生を終了し、放送画面に戻ります。
早送り 	早送り再生をします。(5段階) ・早送り再生中にもう一度押すと、早送りが解除されます。
早戻し 	早戻し再生をします。(5段階) ・早戻し再生中にもう一度押すと、早戻しが解除されます。
30秒スキップ 	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。
10秒バック 	再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。

番組を録画しながら再生する

- 録画中の番組を、録画しながら再生することができます。(追いかけて再生)

1 **リリスト** を押す

2 **△▽** を押し、見たい録画中の番組（録画実行中は赤丸がつく）を選び、**決定** を押す 再生が開始され、再生を停止する場合は、**停止** を押す

- 追いかけて再生の場合、再生している映像に影響がある場合があります。

指定した箇所を繰り返し再生する

- 録画番組の指定した2点間を繰り返し再生（リピート再生）することができます。

1 再生中に **黄** を押し、A点を設定する

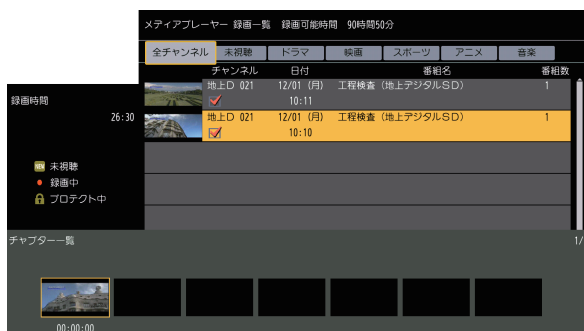
2 もう一度 **黄** を押し、B点を設定する A点とB点の間で再生が繰り返される 通常の再生に戻すには、もう一度 **黄** を押す

- 番組の早送り、早戻し、一時停止中はA点とB点を設定できません。
- 複数の番組にまたがって、A点とB点は設定できません。

「チャプター一覧」画面で場面を選んで再生する

1 **リリスト** を押す

2 見たい録画番組を選び、**緑** を押し、チャプターの一覧が表示される



3 **◀▶** を押し、見たい場面を選び、**決定** を押し、再生が始まる

録画番組再生中に、字幕言語や音声などを変更する

1 録画番組再生中に **サブメニュー** を押す

2 各項目を設定して、**決定** を押す

- 字幕言語：字幕をオンにしたときに表示する。字幕の言語を選びます。(録画番組により選べる言語は異なります。)
- 音声切替：複数の音声信号が記録された録画番組を再生しているとき、出力する音声信号を切り換えます。(音声信号の表示は録画番組により異なります。)
- 二重音声：二重音声信号(「主+副」音声など)が記録されている録画番組を再生しているとき、出力する音声を選びます。(音声の表示は録画番組により異なります。)
- 視聴制限一時解除：制限解除のための暗証番号の登録または入力画面を表示します。

ほかの機器を選択する

- 再生する機器を変更するには以下の操作をします。

1 **リリスト** を押す

2 **サブメニュー** を押し「USB HDD選択」を選び、**決定** を押す



3 使用する機器を△・▽で選び、決定を押す



録画した番組名を編集する

- 録画した番組のタイトルを変更することができます。

1 録リストを押す

2 編集したい録画番組を選び、編集を押す

3 「番組名編集」を選び、決定を押す

4 番組名編集画面になるので、希望の番組名を入力し、入力が完了したら決定を押す

見たい録画番組を探して再生する

- USBハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探すことができます。
- ジャンルから番組を探すことができます。

- 1 **録リスト** を押す
- 2 ◀・▶ で、「未視聴」または各ジャンル
を選ぶ
△・▽ で見たい番組を選び **決定** を押す
- 3 **黄** を押し、「はい」を選び、**決定** を押す

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

- 見終わった録画番組などを消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

一つの録画番組を消す

- 1 **録リスト** を押す
- 2 △・▽ を押し、削除したい録画番組を選ぶ
- 3 **黄** を押し、「はい」を選び、**決定** を押す

複数の録画番組を一括で消す

- 1 **録リスト** を押す
- 2 △・▽ で、削除したい録画番組を選び、**青** を押す
- 3 選択が終わったら、**黄** を押し、「はい」を選び、**決定** を押す


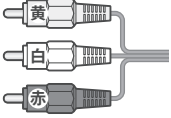
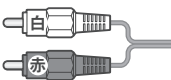


誤って消さないように保護する

- 誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。

- 1 **録リスト** を押す
- 2 保護したい録画番組を選び、**切取** を押す
- 3 「プロテクト設定変更」を選び、**決定** を押す
保護した番組には鍵マークが付く
 - 保護を解除したい場合は、解除したい番組を選び、**決定** を押し、「プロテクト設定変更」を選び、**決定** を押すと、保護が解除されます。

外部機器を接続する

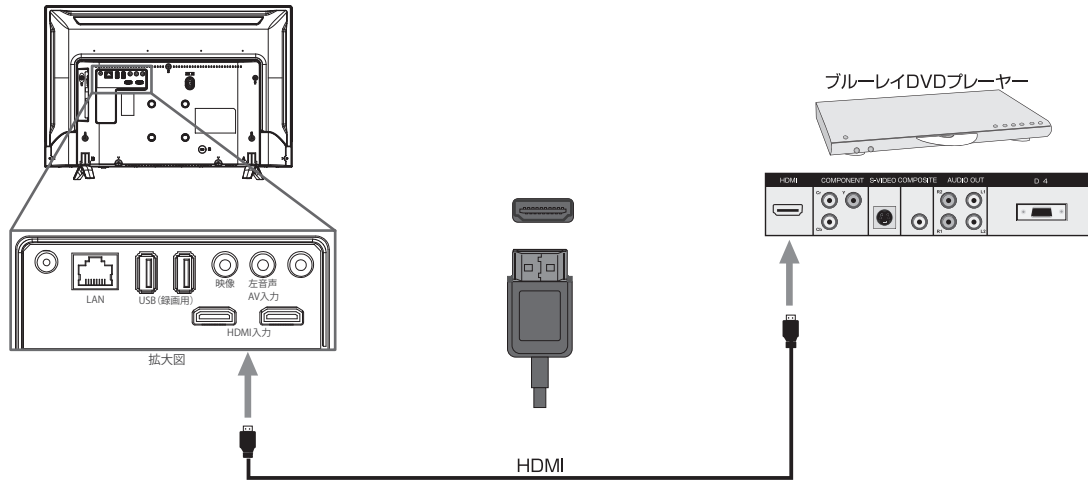
- DVDプレーヤーやビデオカメラ、ゲーム機などのAV機器を接続し、本機で楽しむことができます。高精細、高画質に対応した出力端子に接続するとよりきれいな映像が楽しめます。接続する機器の出力端子に応じて、最適な映像端子をお選びください。

接続ケーブル (接続コード)	画質・音質	本機の入出力対応信号
HDMIケーブル (入力) 	画質・音質 ともに最高	デジタル映像信号 480i、480p、720p、 1080i、1080p デジタル音声信号 リニアPCM、 MPEG-2 AAC サンプリング周波数： 48kHz、44.1kHz、 32kHz
映像・音声用 コード(入力) 	画質・音質 ともに標準	アナログ映像信号 480i アナログ音声信号
音声用コード (入力) 	標準の音質	アナログ音声信号
オーディオ用光 デジタルケーブル (出力) 	最高の音質	デジタル音声信号(光) リニアPCM サンプリング周波数： 48kHz MPEG-2 AAC サンプリング周波数： 48kHz、44.1kHz、 32kHz
音声用コード (出力) 	標準の音質	アナログ音声信号

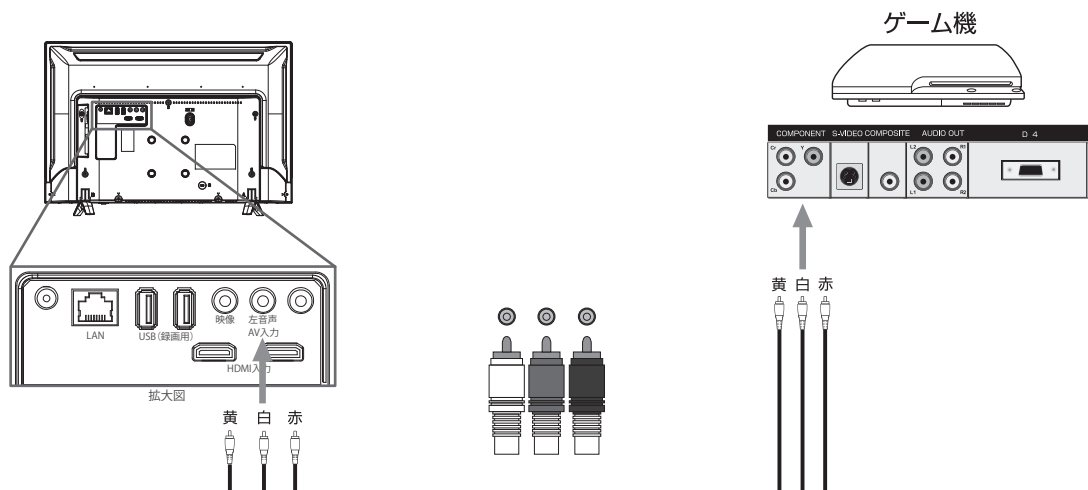
- 本機には接続に使用するケーブル類は付属しておりません。外部機器を接続する際は、あらかじめ必要なケーブル類をご確認の上、お客様にてご用意ください。
- 外部機器を接続する際のご注意：接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。接続の際は、必ず本機及び接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。接続後はプラグを奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全だと、ノイズが発生する原因となります。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ヘッドホン／音声出力端子からは、テレビのスピーカー音声と同じ音声のアナログ信号が出力されます。ただし、音声調整の「低音」、「高音」は使用できません。
- 本機に接続できる接続ケーブル(接続コード)の種類と本機で対応している信号の種類および、これらの中で比較した画質・音質の関係を下表に示します。
- 接続ケーブルの端子形状などは一例です。設置場所や機器の仕様などに合わせて、適切な市販品をご使用ください。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ(**HDMI**)の表示があるケーブルをご使用ください。また、外部機器から1080pの映像信号を入力する場合は、ハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。(標準HDMI®ケーブルでは、正常に動作しないことがあります)
本機のHDMI入力端子は、HDCPで著作権保護されている映像の再生に対応しています。
対応HDCPバージョン：HDCP1.4
- 外部モニターで表示できるように設定し、本機が対応しているHDMI入力信号フォーマットの信号 **[45]**を入力してください。(本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります)
- パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり映像の動きが不自然になったりする場合があります。

HDMI端子を使う場合

- HDMI端子のあるブルーレイDVDプレーヤー、ケーブルTVや衛星放送のセットトップボックスなどを本機に接続することができます。HDMIケーブルを1本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。



映像端子を使う場合



接続機器を使う

オーディオ機器を使う場合

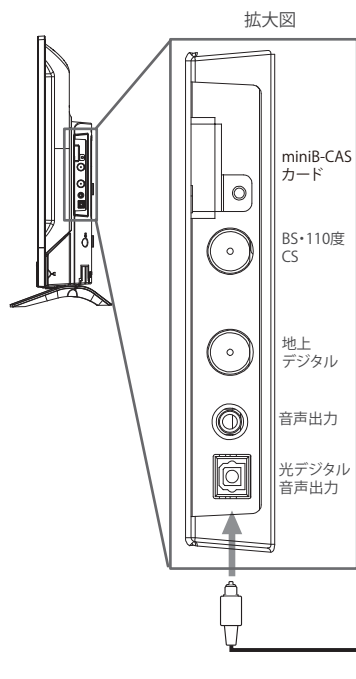
- 市販の光デジタルケーブルでAVアンプなどの光デジタル音声入力と、本機の光デジタル音声出力を接続します。光デジタル接続を使用することにより、AVアンプなどから音声を出し、5.1chの臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。本機では接続する機器に応じてデジタル音声出力の設定を以下の三つから選ぶことができます。


自動：MPEG-2AAC またはドルビーデジタル対応のオーディオ機器に接続する場合に設定します。

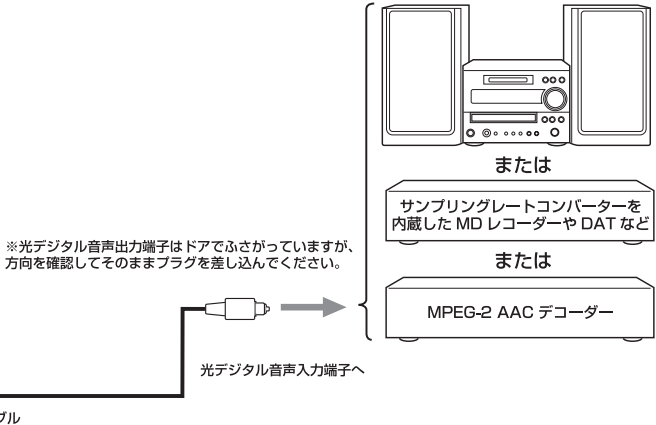
PCM：MPEG-2AAC またはドルビーデジタルに対応していないオーディオ機器に接続する場合に設定します。ただしサンプリングコンバータを内蔵している必要があります。

ビットストリーム：MPEG-2AAC またはドルビーデジタルの信号をそのまま出力します。

- **ミニコンポなどのオーディオ機器に接続するとき**
 - ・ 本機の音量を最小に調節し、ミニコンポなどのオーディオ機器側で音量を調節してご使用ください。
- **サンプリングレートコンバータ内蔵のMDレコーダーやDATに接続するとき**
 - ・ MDレコーダーやDATの光デジタル音声入力端子に接続すれば、高音質で録音して楽しむことができます。
- **MPEG-2 AACデコーダーに接続するとき**
 - ・ デジタル放送のMPEG-2 AAC方式の信号を、MPEG-2 AACデコーダーで楽しむことができます。

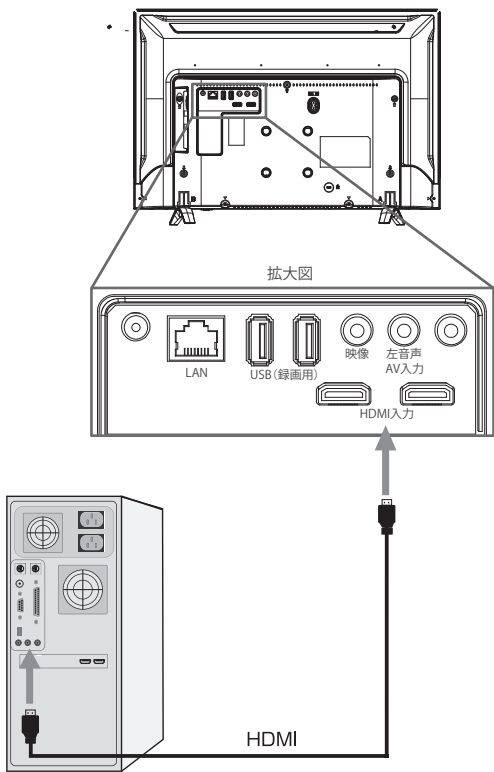


※デジタル音声ケーブルのプラグには2種類の形状があります。接続する機器の端子形状に合ったケーブルをお買い求めください。
本機側に差し込むプラグの形状は、です。



パソコンを使う場合

● 本機にHDMI端子のあるパソコンを接続して、本機の液晶画面をパソコンのモニターとして使うことができます。



解像度	信号名
640×480@60Hz	VGA
800×600@60Hz	SVGA
1024×768@60Hz	XGA
1280×768@60Hz	WXGA
1360×768@60Hz	WXGA
1366×768@60Hz	WXGA
1280×1024@60Hz	SXGA
1920×1080@60Hz	Full HD

接続機器を使う

- 接続するパソコンの取扱説明書もご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子を接続します。対応フォーマットは右記の通りです。接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。
- 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様をご確認ください。
- Dot by Dotには対応しておりません。適正解像度でも若干のにじんだ表示になる場合があります。
- 全てのパソコンでの動作検証は行っておりません。また、パソコンのビデオカードなどによっては、上記のフォーマットでも表示できない場合があります。

外部機器の映像を見る

1 接続の確認をする

- 機器の接続詳細に関しては「42」をご確認下さい。

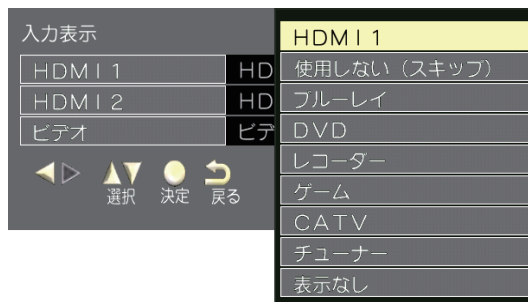
2 入力切替を押す

3 入力切替 または △・▽ を押し、入力を選び 決定 を押す

- 決定 を押さなくても、しばらく待つと選んだ入力に切り替わります。
- 以下の順番に切り替わります。
テレビ→HDMI1→HDMI2→ビデオ



3 「入力表示」を選び、決定 を押す △・▽ でスキップしたい機器を選び、 「使用しない（スキップ）」を選び、 決定 を押す



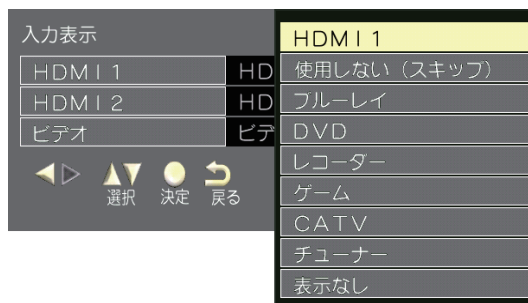
入力切替時に画面に表示される機器名を設定する

- 入力切替をしたときに表示される機器の名称(ブルーレイ、DVDなど)を変更することができます。

1 メニュー を押す

2 「機器設定」 → 「表示の設定」 を選び、 決定 を押す

3 「入力表示」を選び、決定 を押す △・▽ で変更前の機器名を選び、変更後 の機器名を選び、決定 を押す

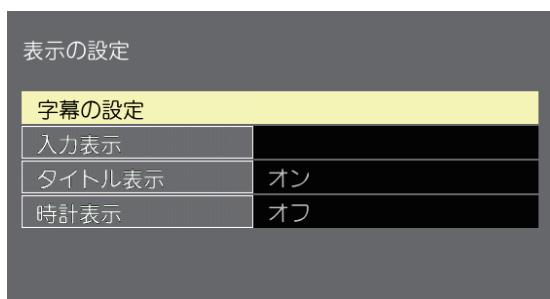


使用しない外部入力をスキップする

- 入力切替をするときに、使っていない入力を自動でスキップする(飛び越す)ことができます。

1 メニュー を押す

2 「機器設定」 → 「表示の設定」 を選び、 決定 を押す

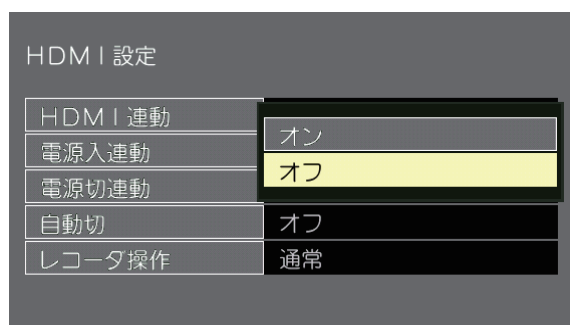


外部機器の接続設定をする

電源入連動の設定をする

- オンにすると、本機の電源が「切」のとき、接続機器の操作で本機の電源を自動的に「入」にします

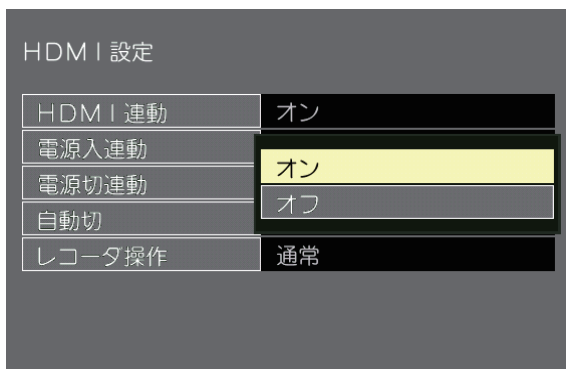
- 1 **X-Button** を押す
- 2 「機器設定」 → 「HDMI設定」 を選び、**決定** を押す
- 3 「電源入連動」で「オン」を選び、**決定** を押す



電源切連動の設定をする

- オンにすると、本機の電源を「切」にしたとき、レコーダーの電源も「切」にします

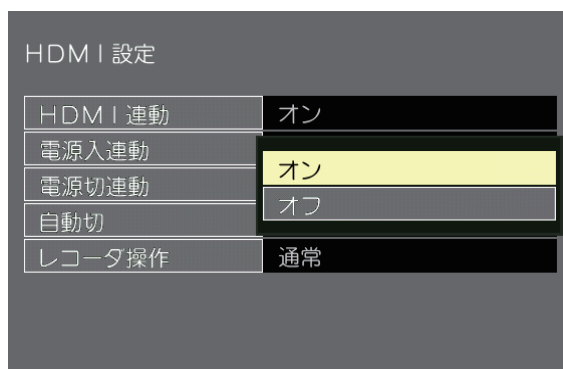
- 1 **X-Button** を押す
- 2 「機器設定」 → 「HDMI設定」 を選び、**決定** を押す
- 3 「電源切連動」で「オン」を選び、**決定** を押す



自動切の設定をする

- オンにすると、使っていない機器の電源を個別に自動で「切」にします

- 1 **X-Button** を押す
- 2 「機器設定」 → 「HDMI設定」 を選び、**決定** を押す
- 3 「自動切」で「オン」を選び、**決定** を押す

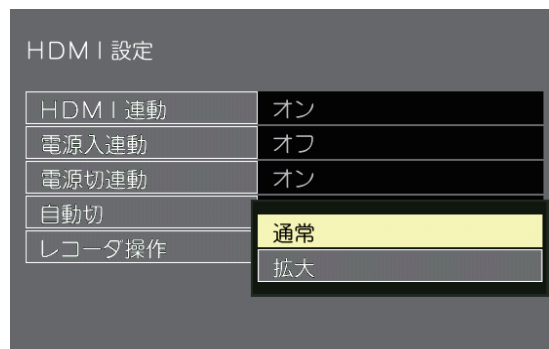


- 自動オフはレコーダーとデジタルSTBに対応していますが、CEC機能により動作しない場合があります。

レコーダ操作の設定をする

- 拡大にすると、レコーダの入力に切り換えているときに、本機のリモコンでレコーダ操作に有効なボタンを追加できます。レコーダの種類により[チャンネル]、[番組表]などのボタンが追加されます

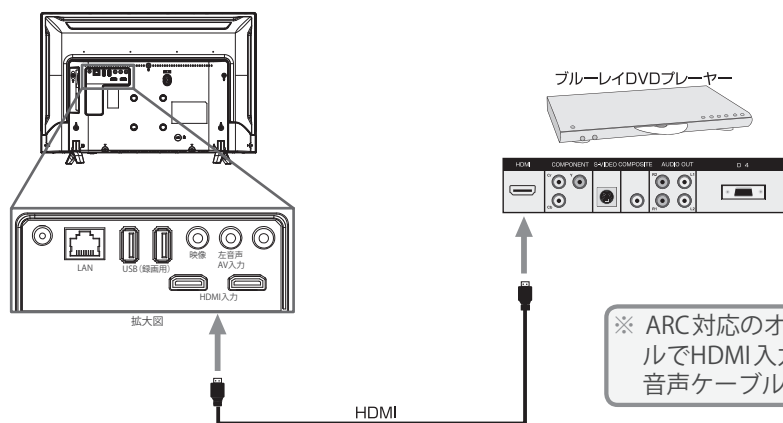
- 1 **X-Button** を押す
- 2 「機器設定」 → 「HDMI設定」 を選び、**決定** を押す
- 3 「レコーダ操作」で「通常」か「拡大」を選び、**決定** を押す



HDMI連動について

HDMI連動対応のオーディオ機器で聴くとき

- HDMI連動対応のオーディオ機器を本機にHDMIケーブルで接続すれば、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節するなどの操作ができます。
- オーディオ機器のHDMI入力端子にHDMI連動機器を接続することができます。
- オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」[53](#)の設定をします。また、必要に応じて「HDMI連動設定」[48](#)をしてください。
- 市販のHDMIケーブルを使い、HDMI連動(CEC)対応機器(AVアンプ、DVDレコーダーなど)を接続することにより、本機のリモコンで操作が可能です。
本機のHDMI 1入力端子はARC(オーディオリターンチャンネル)に対応しています。ARC対応のAVアンプとHDMIケーブルで接続することにより、デジタル音声をAVアンプに出力することができます。接続するAVアンプによって、デジタル音声出力設定をすることができます。
- HDMI連動(CEC)に対応した、AVアンプとDVDレコーダーを同時に使用する場合は、本機とレコーダーの間にAVアンプを接続してください。またDVDレコーダー再生時に、映像より音声が進んで聞こえる場合は、AVアンプの音声遅延設定で調整してください。
HDMI連動(CEC)対応機器を使用するには、HDMI連動設定が必要です。また接続するAVアンプやDVDレコーダー側の設定も必要です。詳しくは各機器の取扱説明書をお読みください。



- HDMI連動機器では、本機との連動機能によって、システムスタンバイの機能を使ったり、本機のリモコンで機器の基本操作をしたりすることができます。詳しくは、「HDMI連動について」[47](#)をご覧ください。
- 必要に応じて「HDMI連動機能」[48](#)の設定をしてください。
デジタル音声出力端子からは、テレビのスピーカー音声と同じ音声のデジタル信号が出力されます。ただし、音声調整の効果は得られません。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号での録音はできません。
- MPEG-2 AAC音声の場合には、主音声・副音声の切り替えは本機では行われません。MPEG-2 AACデコーダー側で切り替えてください。
HDMI入力の選択時に、入力信号が著作権保護されている場合は、デジタル音声出力端子から出力される信号を他の機器に録音することはできません。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては[47](#)をご覧ください。

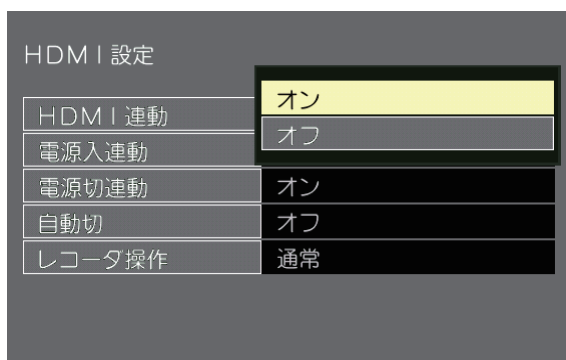
HDMI連動機能について

- 本機のHDMI連動機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC (Consumer Electronics Control) を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
- 接続確認済機器以外の機器をHDMIケーブルで接続した場合に一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
- 接続確認済機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができない場合があります。
- HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
 - ・ 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
 - ・ すべての接続機器の動作を確認してください。※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化する場合があります。
- 本機のリモコンでHDMI連動機器の基本操作をしたり、各種の連動動作をさせたりするための設定をします。
- お買い上げ時、本機はHDMI連動機能を使用するように設定されています。接続機器側の設定も必要です。ご確認ください。

HDMI連動機器を操作するための設定をする

- オンにすると、HDMI連動(CEC)対応機器を本機から制御します

- 1 **メニュー** を押す
- 2 「機器設定」 → 「HDMI設定」 を選び、**決定** を押す
- 3 「HDMI連動」 で 「オン」 を選び、**決定** を押す

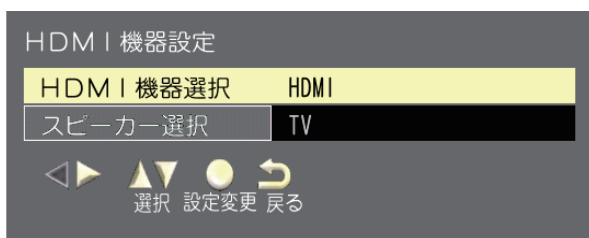


- HDMI連動(CEC)に対応していない機器では操作できません。
- HDMI連動(CEC)を使うには、接続した機器側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI機器選択の設定をする

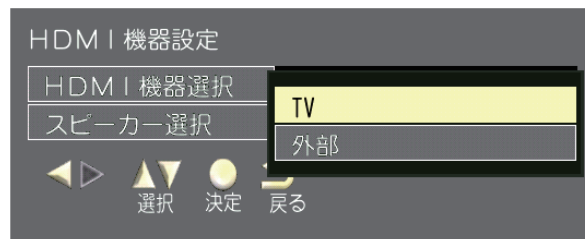
HDMI機器を選ぶ

- 1 **メニュー** を押す
- 2 「HDMI機器設定」 を選び、**決定** を押す
- 3 「HDMI機器選択」 で機器の選択し、**決定** を押す



スピーカーを選ぶ

- 1 **メニュー** を押す
- 2 「HDMI機器設定」 を選び、**決定** を押す
- 3 「スピーカー選択」 で 「TV」 か 「外部」 を機器の選択し、**決定** を押す

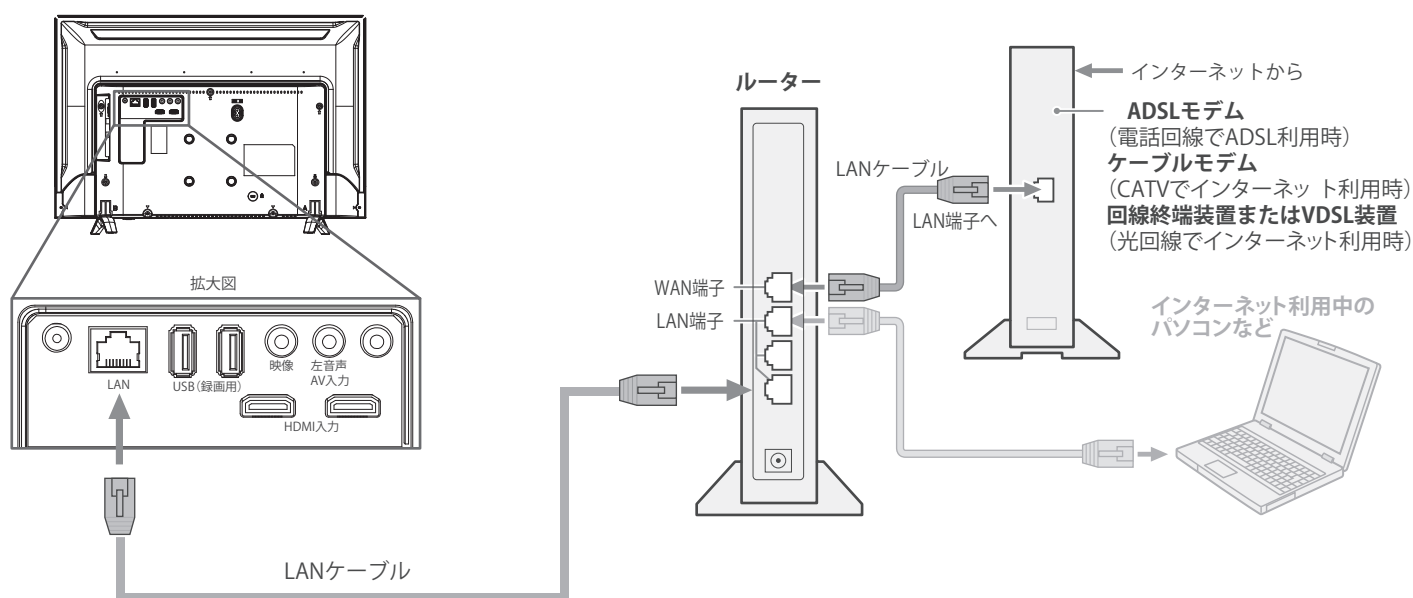


インターネットを利用するための接続をする

本機をインターネットに接続したときにできること

できること	内容	ページ
データ放送の 双方向サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます。 ※ 本機は電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。 	22

- 市販のLANケーブルを使い、ブロードバンドルーターなどのLANポートと本機のLAN接続端子を接続します。
- お使いのFTTH回線終端装置、ケーブルモデム、またはADSLモデムにルーター機能がある場合は、LANポートの一つと本機のLAN端子を接続してください。LANポートに空きがない場合は回線業者やプロバイダー指定のハブを使用して接続してください。
- 双方向サービスを利用しない場合、LANへの接続は必要ありません。
双方向サービスを利用するには、ADSLなどのサービスを提供する回線業者やプロバイダーへの加入契約が必要です。本書では、すでにパソコンがインターネットに接続されているなどブロードバンド環境をお持ちであることを前提に説明しています。ブロードバンド環境をお持ちでなく、これから加入契約をされる場合は、サービスを提供する回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- 回線業者やプロバイダーとの契約内容によっては、複数台の接続ができない場合や、接続にあたって追加料金が必要な場合があります。回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- 接続に必要なブロードバンドルーターなどの機器は、回線業者やプロバイダーの指定された製品をお使いください。回線業者やプロバイダーから提供される説明書もよくお読みください。不明な点は回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
- USB接続のADSLモデムをお使いのときは、回線業者やプロバイダーにご相談ください。



- LANケーブルを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- LANケーブルは、カテゴリ5 (CAT5) と表示された規格以上のものをご使用ください。テレビ・ビデオサービスや動画サービスなどを利用する場合、カテゴリ3と表示されたケーブルでは、正しく視聴できないことがあります。
- 本機のLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。
- 通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、ご自身でお支払いください。
- 以下の場合やご不明な点は、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。
 - ・ ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
 - ・ 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
 - ・ プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
 - ・ 回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
 - ・ モデムについてご不明な点など。
- 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
- 本機はダイヤルアップ通信やISDN回線などでインターネットを利用することはできません。
- この取扱説明書で図示していない機器が接続されている場合は、正常に通信できないことがあります。
- ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

ネットワーク接続の設定をする

- お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をし直す場合などに、必要に応じて設定します。

1 **メニュー** を押し、「通信設定」→「ネットワーク接続」を選び、**決定** を押す

2 以降の手順で設定する



本機の名称を設定する

- 名称を任意で変更することができます。「本機の名称変更」を選び、名称を入力し、**決定** を押す

IPアドレスを設定する

- インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。「IPアドレス」を選び、「自動取得」か「手動設定」を選び、**決定** を押す。
自動取得：「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」情報を自動で取得します。
※「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」は薄く表示され、手動入力不可となります。
手動設定：「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」情報を手動で設定をします。

IPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイを手動入力する

- 「IPアドレス」で「手動設定」を選んだ場合のみ。「IPアドレス」か「サブネットマスク」か「ゲートウェイ」を選び、**1** ~ **10** で入力する。

MACアドレス

- ネットワーク上に接続されている機器を識別するために本機に割り当てられている番号です。

DNSアドレスを設定する

- ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。「DNSアドレス」を選び、「自動取得」か「手動設定」を選び、**決定** を押す※IPアドレスが「手動設定」になっている場合は、自動的に「手動設定」のみとなります。
自動取得：「DNSアドレス」情報を自動で取得します。
※「DNSアドレス」は薄く表示され、手動入力不可となります。
手動設定：「DNSアドレス」情報を手動で設定をします。

DNSを手動入力する

- 「DNSアドレス」で「手動設定」を選んだ場合のみ。「DNS」を選び、**1** ~ **10** で入力する。

プロキシを設定する

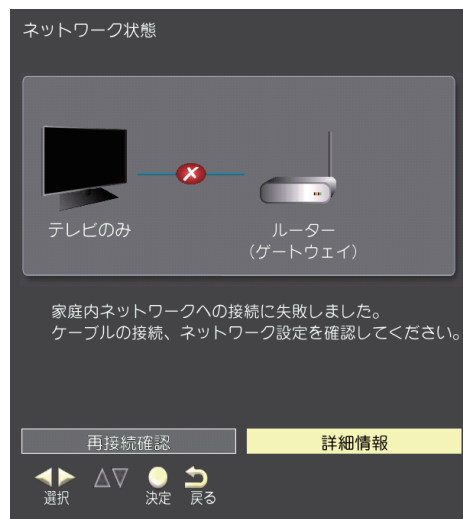
- インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。
- ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。
- 「プロキシ設定」を選び、**決定** を押す。「アドレス」を選び、**1** ~ **12** で入力する。「ポート番号」を選び、**1** ~ **10** で入力する。

ネットワークの接続をする

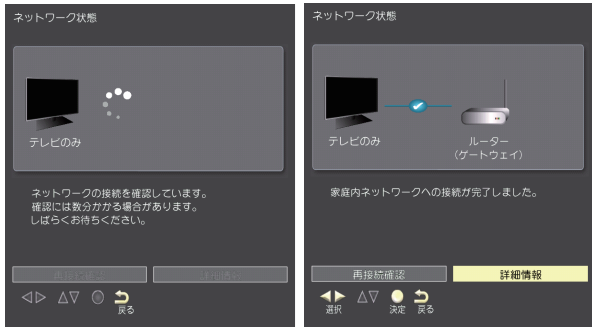
- IPアドレスやDNSが正しく設定されているか、インターネットに接続できるかを確認します。

1 **メニュー** を押し、「通信設定」→「ネットワーク状態」を選び、**決定** を押す

2 「再接続確認」を選び、**決定** を押す



3 ネットワークの接続が完了するまで、「再接続確認」を選び、「決定」を押す

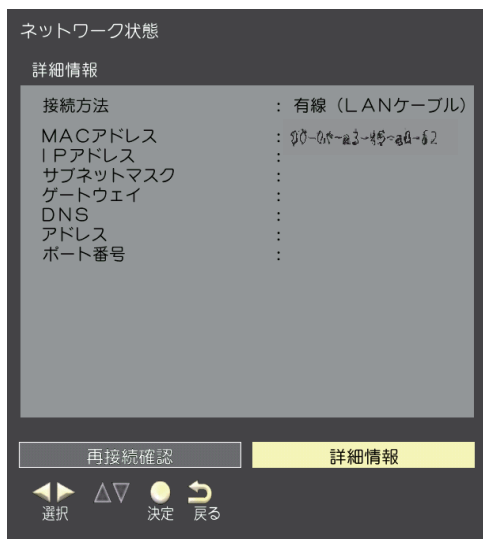


ネットワーク状態の確認をする

- IPアドレスやDNSが正しく設定されているか、インターネットに接続できるかを確認します。

1 **X-1** を押し、「通信設定」→「ネットワーク状態」を選び、「決定」を押す

2 「詳細情報」を選び、「決定」を押す



■ IPアドレス設定について

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能 (IPアドレスを自動的に割り当てる機能)がONのときは、「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は、「する」に設定します。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「自動取得」を「しない」にして、手動で設定します。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定します。設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認します。(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

■ DNS設定について

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は、「する」に設定します。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がOFFのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「しない」にして、プロバイダーから指定されたものを手動で設定します。(プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください)

■ 通信設定の接続テスト結果について

- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。

(1) LAN端子の接続状態と「通信設定」を確認する

正しく接続・設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に關係することがありますのでご注意ください。(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

(2) 通信環境の接続確認

以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。

- ① パソコンのインターネット・ブラウザ (Internet Explorerなど) を起動する
- ② URL欄に「www.nhk.co.jp/」を入力し、ページが表示されることを確認する

ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します (詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。この場合、本機の問題ではない可能性があります。

■ IPアドレス

インターネットに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、最大3ケタの数字4組を点で区切った形になっています。(例: 111.112.xxx.xxx)

■ DNSサーバー

ドメイン名 (xxx.co.jp など) をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSアドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します (例: 111.112.xxx.xxx)。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■ サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです。(例: 255.255.xxx.xxx)

■ デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。例: (111.112.xxx.xxx)

■ プロキシ

ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください。(例: proxy.xxx.xxx.xxx)
この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール (外部からの不正侵入防護壁) を越えて通信先のブラウザにデータを高速で送ることができます。

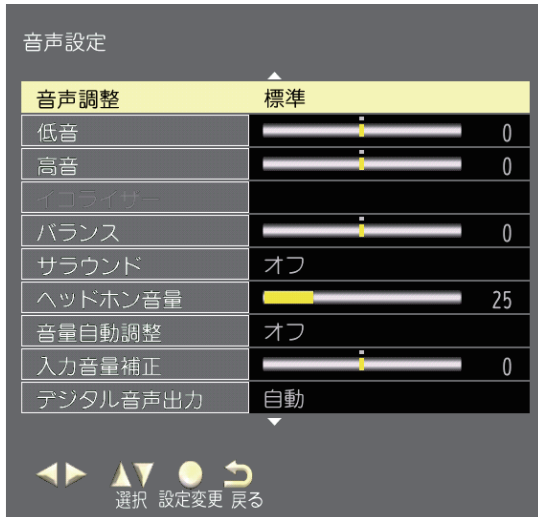
お好みの音声に調整する

●見る番組や映像に応じて、お好みの音声に調整することができます。

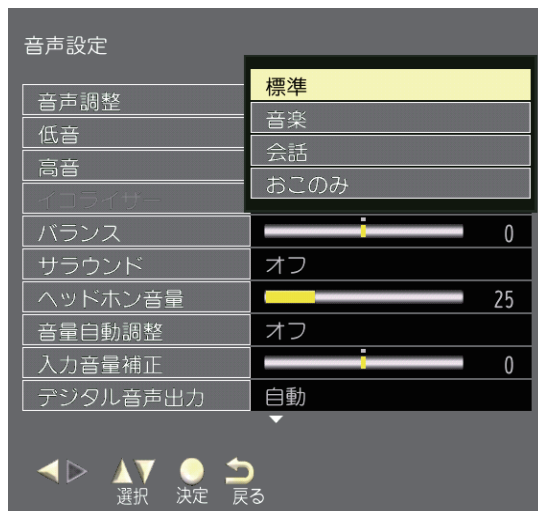
音声調整

●映像内容に合わせて設定します。

- 1 **[X] を押し、「音声設定」を選んで、**[決定]**を押す**



- 2 「音声調整」を選び、「標準」か「音楽」か「会話」か「おこのみ」を選び、**[決定]**を押す



低音・高音の設定をする

●低音・高音をお好みに合わせて設定します。

- 1 **[X] を押し、「音声設定」を選んで、**[決定]**を押す**

- 2 「高音」か「低音」を選び、**[左]**・**[右]**でお好みの数値を選び、**[決定]**を押す

●低音、高音、バランス、サラウンドの調整値は、音声モードごとに記憶します。

イコライザーの設定をする

●ふだんは50で、柔らかい感じにしたい場合は50より小さくします。やわらかな画質 ←→ くっきりとした画質

- 1 **[X] を押し、「音声設定」を選んで、**[決定]**を押す**

- 2 「イコライザー」を選び、**[左]**・**[右]**でお好みの数値を選び、**[決定]**を押す

●イコライザーを調整しても、ヘッドホン接続端子への音声には反映されません。

バランスの設定をする

- 1 **[X] を押し、「音声設定」を選んで、**[決定]**を押す**

- 2 「バランス」を選び、**[左]**・**[右]**でお好みの数値を選び、**[決定]**を押す

●低音、高音、バランス、サラウンドの調整値は、音声モードごとに記憶します。

サラウンドの設定をする

●音声ステレオの場合に音に広がりを与えることができます。※音かひすむ場合はオフを選んでください。

- 1 **[X] を押し、「音声設定」を選んで、**[決定]**を押す**

- 2 「サラウンド」を選び、「オン」か「オフ」を選び、**[決定]**を押す

●低音、高音、バランス、サラウンドの調整値は、音声モードごとに記憶します。

ヘッドホン音量の設定をする

- ヘッドホンの音量をお好みの音量に設定できます。

1 **[X]ボタン** を押し、「音声設定」を選んで、**[決定]** を押す

2 「ヘッドホン音量」を選び、**[左方向キー]**・**[右方向キー]**で
お好みの数値を選び、**[決定]** を押す

- ヘッドホンで音声を聴いているときは、リモコンの[音量]で音量調整できます。ただし、音声同時出力をするに設定しているときは、リモコンの[音量]で音量調整はできません。ヘッドホン音量で調整してください。

音量自動調整の設定をする

- オンに設定すると、小さな音を大きく、大きな音を小さく自動調整し、音量変化を抑えます。

1 **[X]ボタン** を押し、「音声設定」を選んで、**[決定]** を押す

2 「音量自動調整」を選び、「オン」か
「オフ」を選び、**[決定]** を押す

入力音量補正の設定をする

- 放送や入力信号を切り換えて音量が変化するときは、調整したい放送や外部入力の視聴状態にしてから音量を調整します。

1 **[X]ボタン** を押し、「音声設定」を選んで、**[決定]** を押す

2 「入力音量補正」を選び、**[左方向キー]**・**[右方向キー]**で
お好みの数値を選び、**[決定]** を押す

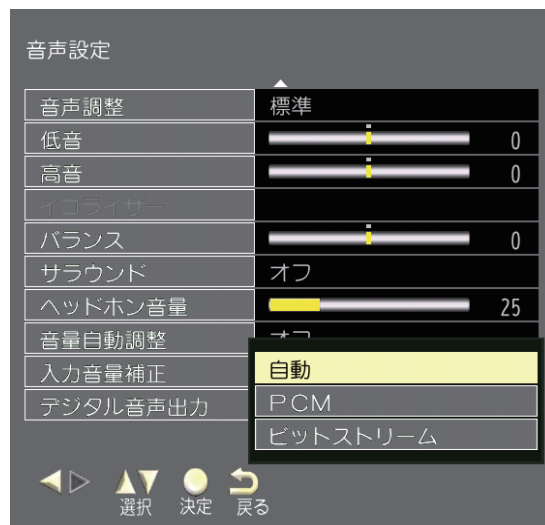
- 入力音声補正は、デジタル放送、HOM11/2入力、ビデオ入力、録画番組再生ごとに設定できます。

デジタル音声出力の設定をする

- デジタル音声出力フォーマットを設定します。デジタル音声出力フォーマットの設定はHDMI1入力端子のARCにも有効となります。
- 自動：MPEG2AACまたはドルビーデジタル対応のオーディオ機器に接続する場合に設定します。
- PCM：MPEG2AACおよびドルビーデジタルに対応していないオーディオ機器に接続する場合に設定します。ただしサンプリングコンバーターを内蔵している必要があります。
- ビットストリーム：MPEG2AACまたはドルビーデジタルの信号をそのまま出力します。

1 **[X]ボタン** を押し、「音声設定」を選んで、**[決定]** を押す

2 「デジタル音声出力」を選び、「自動」か「PCM」か「ビットストリーム」を選び、**[決定]** を押す

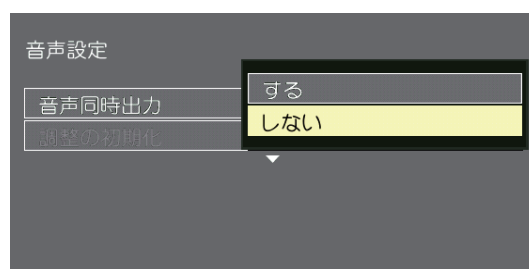


音声同時出力の設定をする

- 「する」に設定すると、スピーカーとヘッドホンの両方から音声が出力されます。

1 **[X]ボタン** を押し、「音声設定」を選んで、**[決定]** を押す

2 「音声同時出力」を選び、「する」か
「しない」を選び、**[決定]** を押す



調整の初期化の設定をする

- 「はい」を選び **[決定]** を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

1 **[X]ボタン** を押し、「音声設定」を選んで、**[決定]** を押す

2 「調整の初期化」を選び、「はい」を選び
[決定] を押す

音声の設定をする

- 1つの番組に複数の音声がある放送(マルチビュー放送)のとき番組内の音声を切り換えます。

1 **切替** を押し、「信号切換」を選んで、**決定** を押す

2 「音声」を選び、「日本語」か「他国語(例：英語)」を選び、**決定** を押す

二重音声の設定をする

- 主音声/副音声を切り換えます。

1 **切替** を押し、「信号切換」を選んで、**決定** を押す

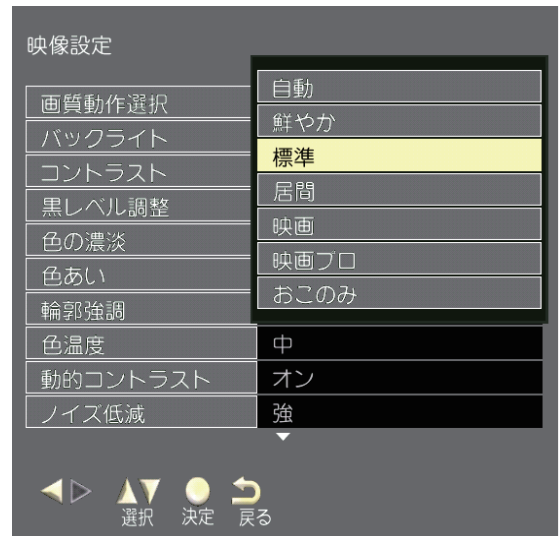
2 「二重音声」を選び、「主音声」か「副音声」を選び、**決定** を押す

お好みの画面に調整する

- 見る番組に応じて、お好みの画面に調整することができます。
- 調整値は、映像モードごとに記憶します。さらに、映像モードがユーザーの場合は、放送および入力信号ごとに記憶します。
- パワーセーブが「オン」のときは、明るい場所や暗い場所でバックライトを調整しても変化が少ない場合があります。

画質動作選択の設定をする

- 1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、**[決定]** を押し



- 2 「画質動作選択」を選び、「自動」か「鮮やか」か「標準」か「居間」か「映画」か「映画プロ」か「おこのみ」を選び、**[決定]** を押し

- 自動：放送や入力信号に応じて、最適な画面モードに自動で切り換えます。画面サイズが変わり見にくくなるときは、手動で画面モードを選んでください。
- 鮮やか：鮮明でコントラストのある画像に調整します。明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむときに適したモードです。
- 標準：標準的な画像に調整します。通常のテレビ番組、DVD再生などを楽しむときに適したモードです。
- 居間：オリジナル映像のまま表示します。
- 映画：映画館のスクリーンを見るような感覚で映画を楽しむときや、落ちついた明かりのインテリア照明のリビングなどで、長時間視聴に適したモードです。
- 映画プロ
- おこのみ：ハイビジョン映像で、両端に映像のない部分があるとき、帯部分を削除(サイドカット)して16:9の画面に拡大表示します。中央付近はあまり変えずに左右周辺は大きくし、違和感の少ない映像にします。

バックライトの設定をする

- 1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、を押し
- 2 「バックライト」を選び、**[左]・[右]** でお好みの数値を選び、**[決定]** を押し



コントラストの設定をする

- 部屋の明るさに合わせた濃淡、明るさに調整します。

- 1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、を押す
- 2 「コントラスト」を選び、◀・▶で好みの数値を選び、**[決定]** を押す

黒レベル調整の設定をする

- 夜の場面や髪の毛などを見やすく調整します。

- 1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、を押す
- 2 「黒レベル調整」を選び、◀・▶で好みの数値を選び、**[決定]** を押す

色の濃淡の設定をする

- お好みの濃さにします。

- 1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、**[決定]** を押す
- 2 「色の濃淡」を選び、◀・▶で好みの数値を選び、**[決定]** を押す

色あいの設定をする

- 肌色がきれいに見えるようにします。

- 1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、**[決定]** を押す
- 2 「色の濃淡」を選び、◀・▶で好みの数値を選び、**[決定]** を押す

輪郭強調の設定をする

- ふだんは50で、柔らかい感じにしたい場合は50より小さくします。やわらかな画質↔くっきりとした画質

- 1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、**[決定]** を押す
- 2 「輪郭強調」を選び、◀・▶で好みの数値を選び、**[決定]** を押す

色温度の設定をする

- 室内照明などによる影響から色調を補正するときに設定します。

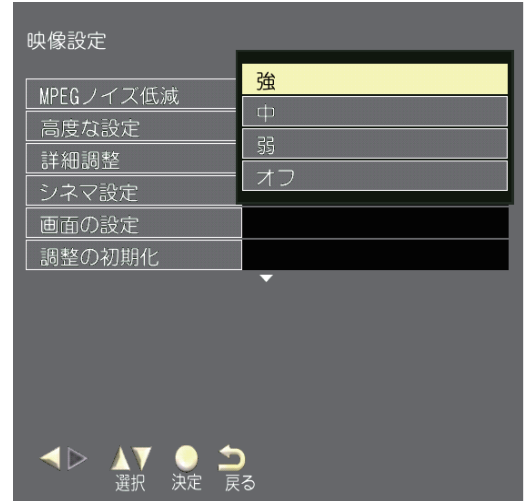
- 1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、**[決定]** を押す
- 2 「色温度」を選び、「高」か「中」か「低」を選び、**[決定]** を押す



動的コントラストの設定をする

- 「オン」に設定すると、シーンにあわせてメリハリのある映像にします。パワーセーブの機能を使わないときは「オフ」に設定してください。

- 1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、を押す
- 2 「動的コントラスト」を選び、「オン」か「オフ」を選び、**[決定]** を押す



ノイズ低減の設定をする

- デジタル放送特有のノイズなどを軽減します。強くするとノイズが目立たなくなりますが、鮮鋭度が低下します。

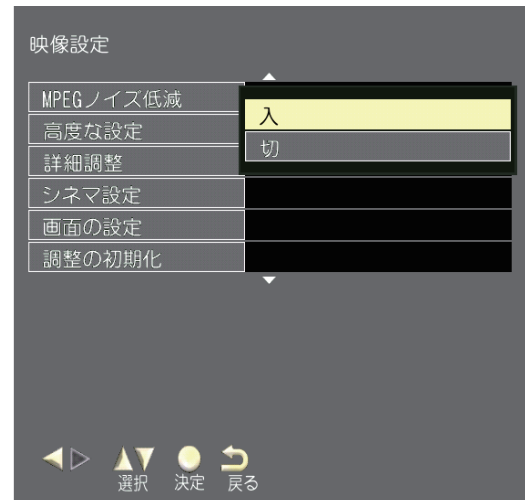
- 1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、**を押し**
- 2 「ノイズ低減」を選び、「強」か「中」か「弱」か「オフ」を選び、**決定** を押し



高度な設定をする

- 「入」にすると詳細調整でより細かい調整が可能になります。

- 1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、**を押し**
- 2 「高度な設定」を選び、「入」か「切」を選び、**決定** を押し



MPEGノイズ低減の設定をする

- MPEG特有のモスキートノイズを軽減します。強くするとノイズが目立たなくなりますが、鮮鋭度が低下します。

- 1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、**を押し**
- 2 「MPEGノイズ低減」を選び、「強」か「中」か「弱」か「オフ」を選び、**決定** を押し

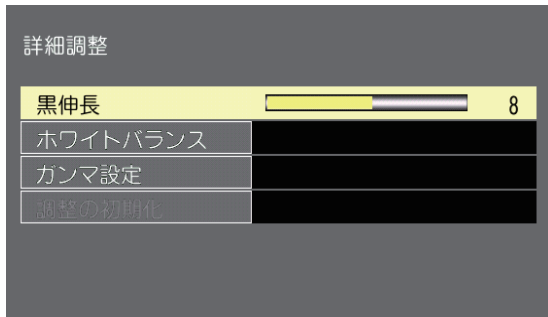
詳細調整の設定をする

- 高度な設定を「入」にすると調整が可能になります。

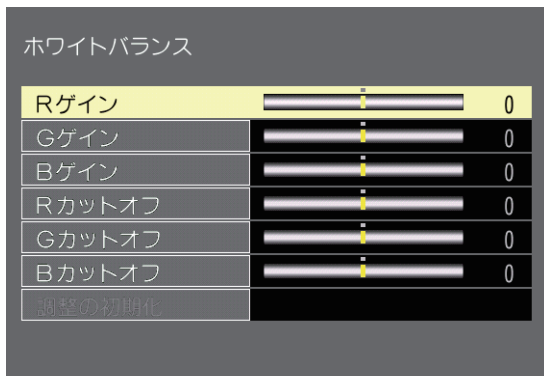
- 1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、**決定** を押し
- 2 「詳細調整」を選び、**決定** を押し

3 以下の通りお好みで調整することができる

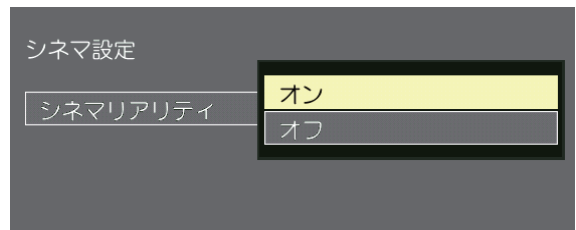
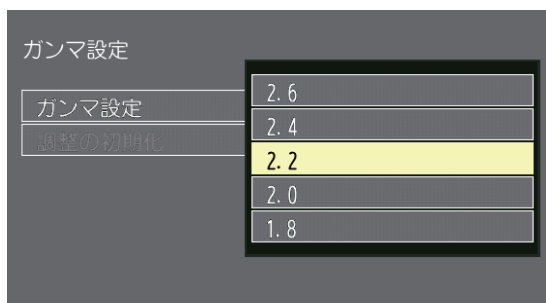
- 黒伸長の設定をする。
「黒伸長」を選び、◀・▶でお好みの数値を選び、決定を押す。



- ホワイトバランスの設定をする。
「ホワイトバランス」を選び、各項目を選び、◀・▶でお好みの数値を選び、決定を押す。



- ガンマの設定をする。
「ガンマ設定」を選び、「2.6」か「2.4」か「2.2」か「2.0」か「1.8」を選び、決定を押す。



- シネマリアリティは、1080i、480i信号の場合のみ設定できます。
- シネマリアリティの設定値は、以下の放送および入力信号ごとに記憶されます。地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、ビデオ入力、HDMI入力。

画面の設定をする

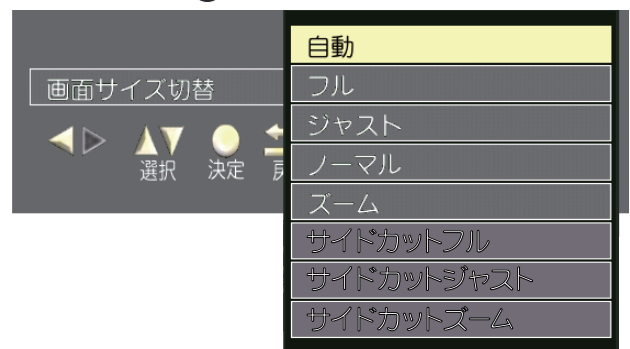
- 「オン」に設定すると、毎秒24コマで撮影された映画の映像を忠実に再現します。映像が不自然なときは「オフ」に設定してください。

1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、を押す

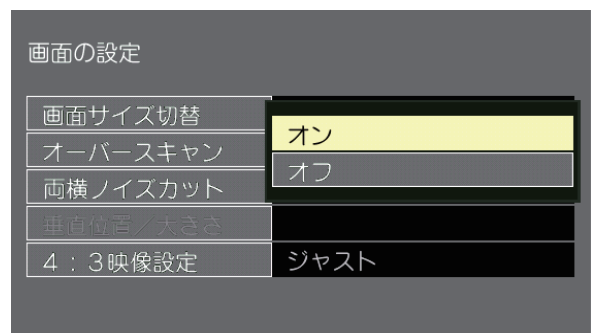
2 「画面の設定」を選び、決定を押す

3 以下の通りお好みで調整することができる

- 画面サイズ切替の設定をする。
「画面サイズ切替」を選び、「自動」か「フル」か「ジャスト」か「ノーマル」か「ズーム」か「サイドカットフル」か「サイドカットジャスト」か「サイドカットズーム」を選び、決定を押す。



- オーバースキャンの設定をする。
「オーバースキャン」を選び、「オン」か「オフ」を選び、決定を押す。



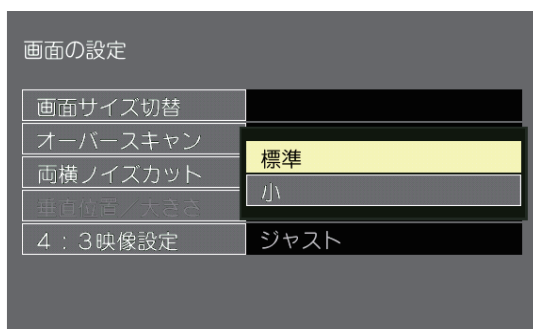
シネマ設定(シネマリアリティ)の設定をする

- 「オン」に設定すると、毎秒24コマで撮影された映画の映像を忠実に再現します。映像が不自然なときは「オフ」に設定してください。

1 **[X]キー** を押し、「映像設定」を選んで、を押す

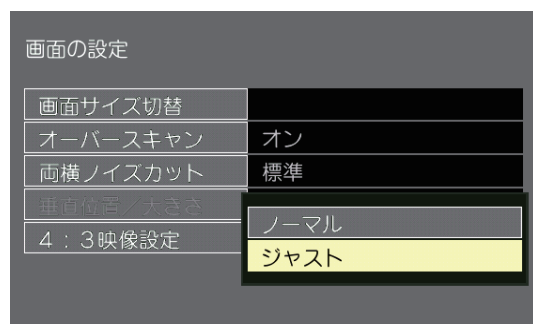
2 「シネマ設定」を選び、「シネマリアリティ」を「オン」か「オフ」を選び、決定を押す

- 両横ノイズカットの設定をする。
「両横ノイズカット」を選び、「標準」か「小」を選び、**決定**を押す。



- 垂直位置/大きさの設定に関して。
オリジナル映像のまま表示します。

- 4:3映像設定の設定をする。
「4:3映像設定」を選び、「ノーマル」か「ジャスト」を選び、**決定**を押す。



マルチビューの設定をする

- 1 **切替**を押し、「信号切換」を選んで、**決定**を押す
- 2 「マルチビュー」を選び、「主番組」等を選び、**決定**を押す

調整の初期化の設定をする

- 「はい」を選び **決定**を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

- 1 **切替**を押し、「映像設定」を選んで、を押す
- 2 「調整の初期化」を選び、「はい」を選び **決定**を押す

映像の設定をする

- 1つの番組に複数の映像がある放送(マルチビュー放送)のとき番組内の映像を切り換えます。

- 1 **切替**を押し、「信号切換」を選んで、**決定**を押す
- 2 「映像」を選び、「映像1」か「他の映像(例：映像2)」を選び、**決定**を押す

その他の設定をする

アンテナを調整する

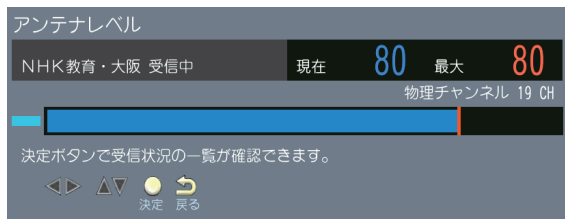
● テレビが全く映らない、または画面が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナを確認します。

アンテナレベルを確認する

● 見ている放送局のアンテナレベルを表示します。地上デジタル視聴中では、さらに **決定** を押すと全放送局の受信状況一覧を表示します。

1 **メニュー** を押し、「アンテナレベル」を選び、**決定** を押す、

● 見ている放送局のアンテナレベルを表示します。



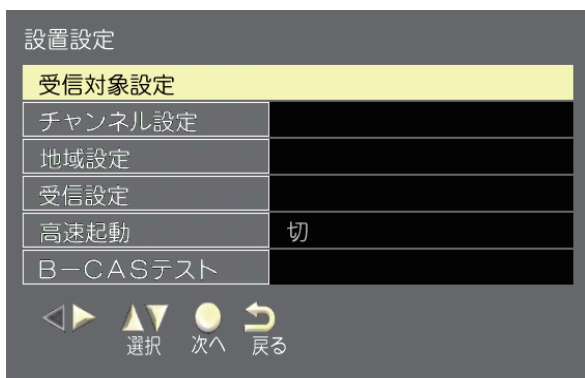
2 地上デジタル視聴中は、さらに **決定** を押すと、全放送局の受信状況一覧を表示します。

アンテナ受信設定をする

地上デジタル放送の設定をする

● アッテネーターを設定したり、アンテナレベルが最大になるように物理チャンネルを選択して、アンテナ調整します。放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときはアッテネーターをオンに設定し、電波を弱めて安定させます。

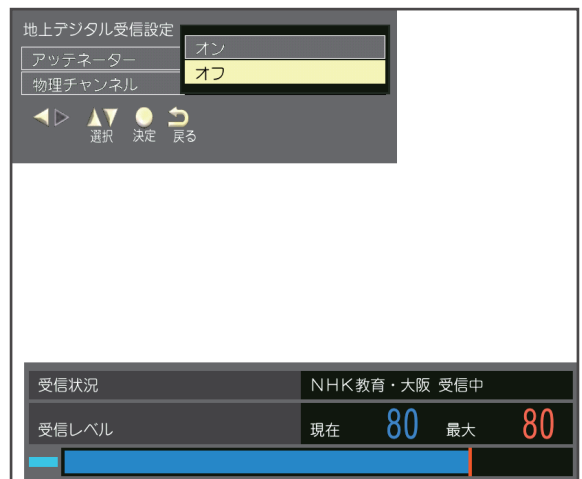
1 **メニュー** を押し、「機器設定」→「設置設定」を選び、**決定** を押す



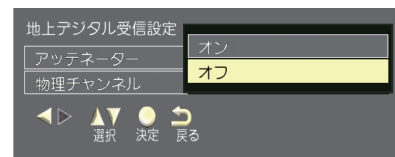
2 「受信設定」→「地上」を選び、**決定** を押す



3 「受信設定」→「地上」を選び、**決定** を押す
以下の通り各項目設定することができる



● アッテネーターの設定をする。「アッテネーター」を選び、「オン」か「オフ」を選び、**決定** を押す。



● 物理チャンネルの設定をする。「物理チャンネル」を選び、「チャンネル」を選ぶ。



● アンテナレベルの数値は、受信C/Nを換算したものです。「受信C/N」とは放送電波と雑音電波の比を表すもので、電波の品質を知るときの目安となります。)

衛星デジタル (BS・CS) 放送の設定をする

- アンテナ電源：「オン」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。(ブースターなどからコンバーターへ電源を供給しているときは「オフ」にしてください)
トランスポンダ、衛星周波数：変えると視聴できなくなることがあります。放送局などから案内がない限り、変えないでください。

1 **[メニュー]** を押し、「機器設定」→「設置設定」を選、を押す

2 「受信設定」→「衛星」を選び、**[決定]** を押す



3 「受信設定」→「地上」を選び、**[決定]** を押す
以下の通り各項目設定することができる



- アンテナ電源の設定をする
「アンテナ電源」を選び、「オン」か「オフ」を選び、**[決定]** を押す



- トランスポンダの設定をする
「トランスポンダ」を選び、「チャンネル」を選び、**[決定]** を押す



- 衛星周波数の設定をする
「衛星周波数」を選び、**[1]**~**[10]** で数値を選び、**[決定]** を押す



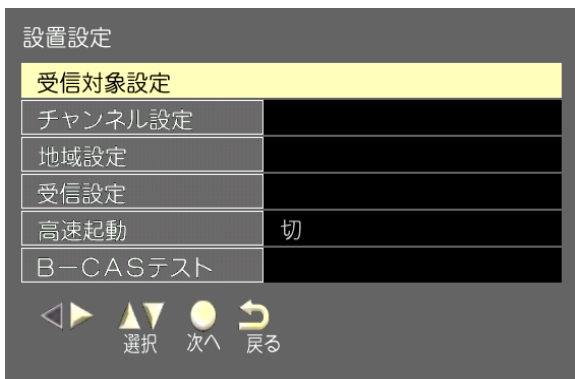
チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを設定する

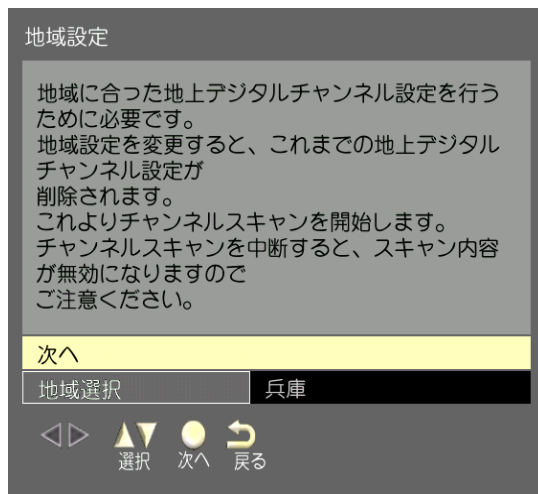
初期スキャンをするとき

- 受信可能なチャンネルを本機が探し、設定します。

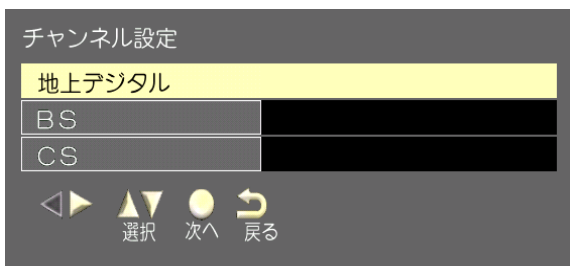
- 1 **X₁** を押し、「機器設定」→「設置設定」→「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す



- 3 「次へ」か「地域選択」を選んで、**決定** を押す



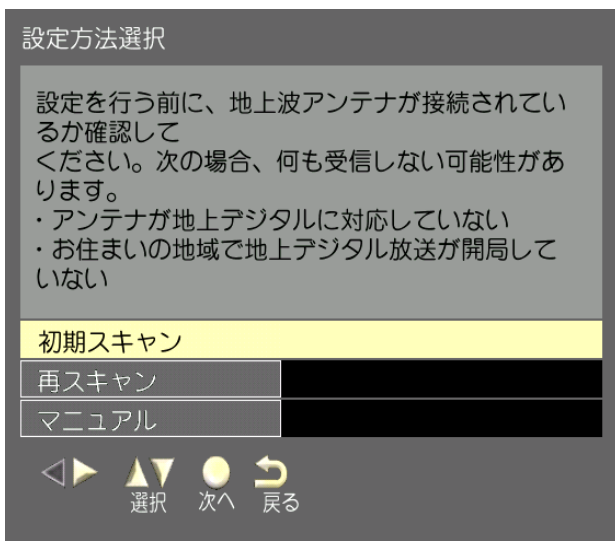
- 2 「地上デジタル」を選んで、**決定** を押す



- 4 「UHF」か「全帯域」を選び、**決定** を押す
- チャンネルスキャンが始まります。

- 5 「地上デジタルチャンネル設定/アンテナレベル確認」が表示されたら、初期スキャン完了 **戻る** を押す

- 3 「初期スキャン」を選んで、**決定** を押す



再スキャンをするとき

- 受信状況が変わったときや新しい放送局が開局したときなどで受信可能なチャンネルを本機が探し、設定します。

- 1 **X₁** を押し、「機器設定」→「設置設定」→「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す

- 2 「地上デジタル」を選んで、**決定** を押す

- 3 「再スキャン」を選んで、**決定** を押す
- チャンネルスキャンが始まります。

- 4 「地上デジタルチャンネル設定/アンテナレベル確認」が表示されたら、初期スキャン完了 **戻る** を押す

チャンネルをお好みに手動で設定する

- 初期スキャンや再スキャンで設定されたリモコンの数字ボタンへの割り当てをお好みで変えたいときに設定します。

地上デジタル放送の設定をする

- 1 **メニュー** を押し、「機器設定」→「設置設定」→「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す
- 2 「地上デジタル」を選んで、**決定** を押す
- 3 「マニュアル」を選んで、**決定** を押す
- 4 「地上デジタルチャンネル設定」が表示されるので、「1」～「36」のいずれかのリモコン番号を選び、**決定** を押す
選んだリモコンボタンを押した際に、表示される「CH」（チャンネル）を◀・▶で選び、**戻る** を押す



- 「CH」を◀・▶で変更する度に、「チャンネル名」「種類」が自動で変更されます。

衛星デジタル (BS・CS) 放送の設定をする

- 衛星デジタル放送(BSデジタル/110度CSデジタル)のチャンネルはお買い上げ時にすでに設定されていますが、リモコンの数字ボタンへの割り当てをお好みで変えたいときに設定します

- 1 **メニュー** を押し、「機器設定」→「設置設定」→「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す

- 2 「BS」か「CS」を選んで、**決定** を押す

- 3 「BSチャンネル設定」か「CSチャンネル設定」が表示されるので、「1」～「36」のいずれかのリモコン番号を選び、**決定** を押す
選んだリモコンボタンを押した際に、表示される「CH」（チャンネル）を◀・▶で選び、**戻る** を押す

リモコン	CH	チャンネル	種類
1	---		
2	---		
3	---		
4	---		
5	055		テレビ
6	---		
7	---		
8	---		
9	---		
10	---		
11	---		
12	---		

- 上記は「CSチャンネル設定」画面です。

地域の設定をする

- お住まいの地域や郵便番号を設定します。データ放送で地域の情報を受信するための設定をします。お住まいが変わったときなどに必要です

- 1 **メニュー** を押し、「機器設定」→「設置設定」→「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す

- 2 「地域設定」を選んで、**決定** を押す

- 3 「県域設定」か「郵便番号」を選び、地域の設定をする
設定後は **戻る** を押す

- 県域設定：△▽で都道府県を選び、**決定** を押す
- 郵便番号：1～10で郵便番号を入力をし、**戻る** を押す

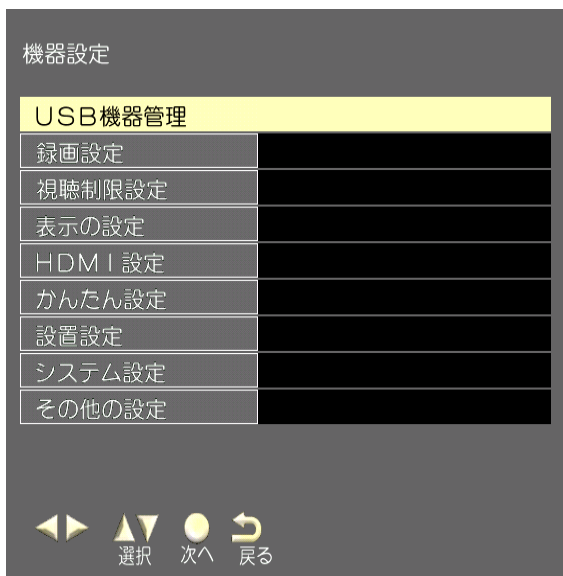


視聴できる番組を制限する

制限するために暗証番号を設定する

- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たりするときが必要です。
- 初めて制限設定をご使用になるとき、暗証番号の登録が必要です。暗証番号設定画面が表示されますので暗証番号を2回入力して登録します。以降、各項目を変更する場合には登録した暗証番号の入力が必要です。
- 暗証番号を忘れないようにご注意ください。必要としない場合は、暗証番号の登録をしないことをおすすめします。

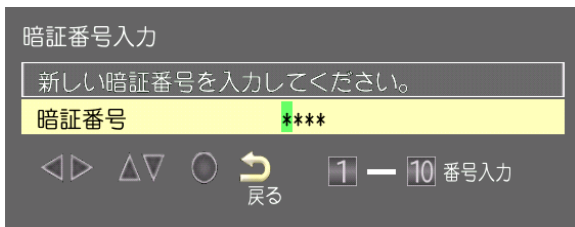
1 X[OS] を押し、「機器設定」→「視聴制限設定」を選んで、決定を押す



2 暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を 1 ~ 10 で入力する

- 新規設定の場合、この手順はありません。

3 登録したい暗証番号を 1 ~ 10 で2回入力する。



- 間違えて入力した場合は、戻るを押して、もう一度入力します。

【重要】

登録した暗証番号はメモするなどして、なくさないように保管してください。

番組の視聴を制限する

- 視聴可能年齢を設定します

1 X[OS] を押し、「機器設定」→「視聴制限設定」を選んで、決定を押す

2 「視聴年齢制限設定」を選んで、「4才」～「19才」か「無制限」を選び、決定を押す

- 視聴可能年齢を無制限に設定すると番組の対象年齢に関係なく視聴できます。
- 視聴年齢制限は、録画中は設定できません。

暗証番号を削除する

- 「はい」を選択すると、視聴制限などの制限項目が解除されます

1 X[OS] を押し、「機器設定」→「視聴制限設定」を選んで、決定を押す

2 「暗証番号削除」を選んで、「はい」を押す

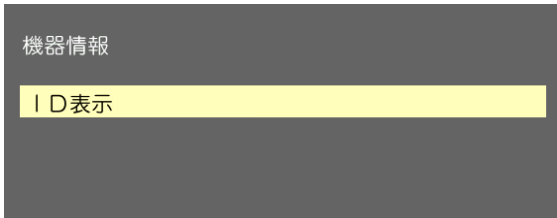
- 暗証番号削除は、録画中は設定できません。

ソフトウェアについて

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア(制御プログラム)で動作するようになっていました。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。

ソフトウェアのバージョンを確認する

- 1 **X**を押し、「機器情報」を選び、**決定**を押す



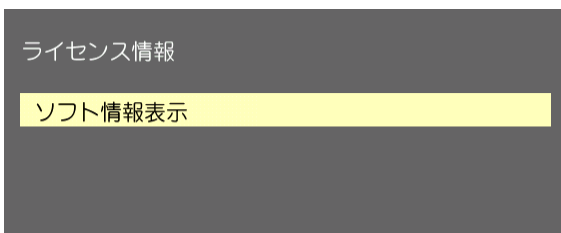
- 2 「ID表示」を選び、**決定**を押すと、「バージョン」にて表示される



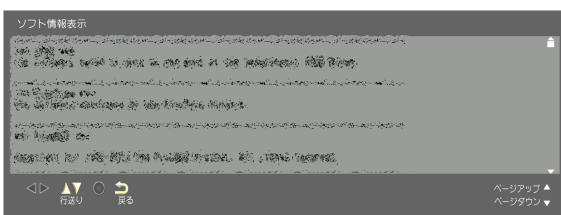
ソフトウェアライセンス情報を確認する

- 本機のソフトウェア情報を表示します

- 1 **X**を押し、「機器設定」→「ライセンス情報」を選び、**決定**を押す



- 2 「ソフト情報表示」を選び、**決定**を押す



その他

デコーダーIDを確認する

- 1 **X**を押し、「機器情報」を選び、**決定**を押す

- 2 「ID表示」を選び、**決定**を押すと、「デコーダー」にて表示される



ルート証明書情報を確認する

- データ放送時のルート証明書の情報を表示します

- 1 **X**を押し、「機器設定」を選び、**決定**を押す

- 2 「システム設定」→「ルート証明書」を選び、**決定**を押す



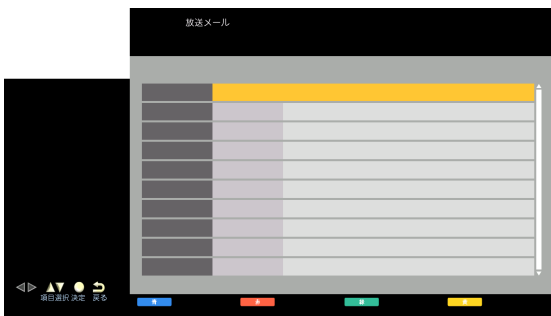
お知らせを見る

放送メールを見る

- 「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」があります。

1 **メニュー** を押し、「機器設定」→「システム設定」を選び、**決定** を押す

2 「放送メール」を選び、**決定** を押す



- 既読の古いものから順に削除される場合があります。

CSボードを見る

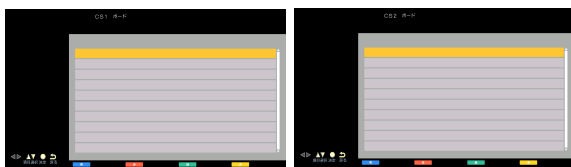
- 「110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせ」があります。

1 **メニュー** を押し、「機器設定」→「システム設定」を選び、**決定** を押す

2 「CSボード」を選び、**決定** を押す



3 「CS1ボード」か「CS2ボード」を選び、**決定** を押す



- 既読の古いものから順に削除される場合があります。

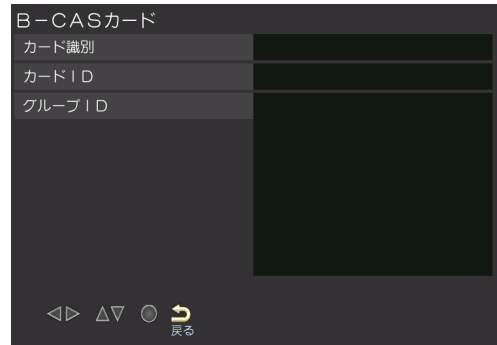
miniB-CASカードについて

カード情報を確認する

- B-CASカードの状態やID番号などが確認できます。

1 **メニュー** を押し、「機器設定」→「システム設定」を選び、**決定** を押す

2 「B-CAS情報」を選び、**決定** を押す

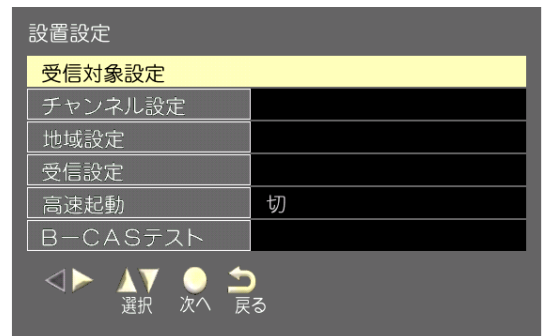


- B-CASカードの状態確認結果が表示されます。

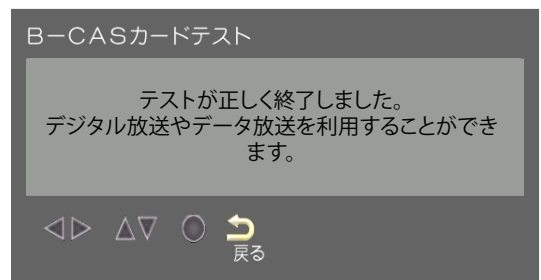
テストをする

- B-CASカードのテストをします。B-CASカード挿入後、3秒以上経ってから行ってください

1 **メニュー** を押し、「機器設定」→「設置設定」を選び、**決定** を押す



2 「B-CASテスト」を選び、**決定** を押す



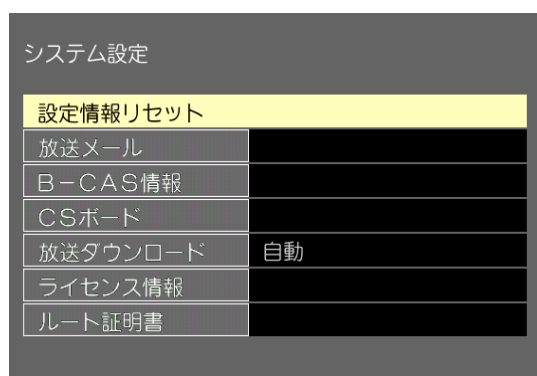
その他

お買い上げ時の設定に戻すには (設定内容を初期化するには)

- 本機を廃棄されるときなど、記録されている情報をすべて消去します。
- 設定情報をリセットすると、本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)は、すべて消去されます。
- 設定情報をリセットすると、本機で録画・再生に使用したUSBハードディスクの登録情報も削除されるため、USBハードディスクの録画番組を再生できなくなります。
- 設定情報をリセットしても、視聴制限設定で設定した暗証番号は消去されません。視聴制限設定の暗証番号削除で消去してください。
- 設定情報をリセットしても、双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報は、この操作では消去されませんのでご注意ください。それぞれのサービスで情報の消去操作(退会手続きなど)を行ってください。
- 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

視聴制限設定の暗証番号を削除する

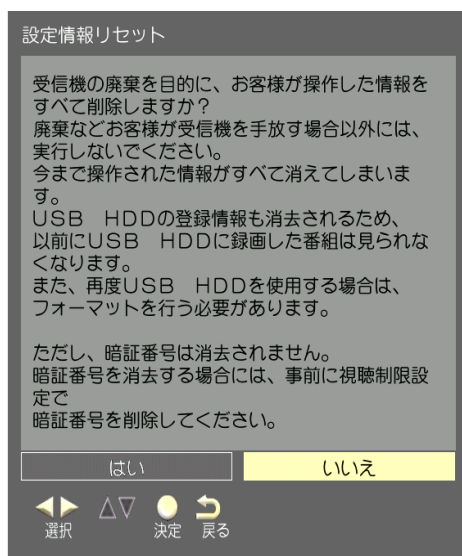
- 1 **メニュー** を押し、「機器設定」→「システム設定」を選び、**決定** を押す



- 1 **メニュー** を押し、「機器設定」→「視聴制限設定」を選んで、**決定** を押す

- 2 「暗証番号削除」を選んで、「はい」を押す

- 2 「設定情報リセット」→「はい」を選び、**決定** を押す



- 初期化される内容は、画面をご覧ください。

こんな場合は故障ではありません

悪天候でのBS・110度CSデジタル放送の受信障害

- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときは、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 天候が回復すれば正常に映るようになります。

大雨が降っている



大雪が降っている



アンテナに雪が積もっている



本機内部からの動作音

- 電源待機時に番組情報を取得等の動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。
- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

キャビネットからのきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮する時に発生する音です。画面や音声等に異常がなければ心配ありません。

使用していないのに温まる

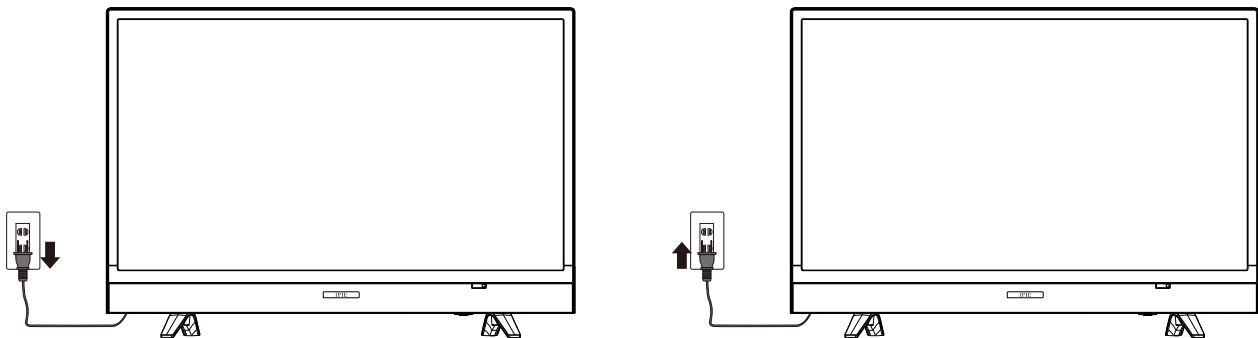
- 使用していない場合でも、番組情報取得等の動作をしている時等は、本機の温度が多少上昇します。

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 表の「ページ」の欄は関連事項が記載されているページです。

テレビが操作できなくなったとき

- リモコンでもテレビ本体の操作ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作をしてみてください。



電源プラグを抜いてリセットする

- ① 電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- ② 1分以上お待ち下さい。
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れます。

操作

電源がはまらない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグが抜けていませんか。 「電源」ランプが消えていませんか。	・電源プラグをコンセントに差し込みます。 ・本体の操作ボタンを押して電源を入れます。 ※「電源」ランプが消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。	-
「電源」ランプが赤色に点灯していますか。	・電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。	-

リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありますか。	・障害物を取り除きます。 リモコン受光部の位置本体全面の右下にございます。	-
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	・新しい乾電池に交換します。	-
リモコンの乾電池の向き(+、-)が合っていますか。	・向き(+、-)を確認し、正しく入れてください。	-
本体の操作ボタンで操作ができますか。	・上記の対処をした上で、なおリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。	-

映像

放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	・アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。	-
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	・確認して、まっすぐにします。(折らないようにご注意ください)	-
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	・アンテナ線を交換します。	-
レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。	・アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。	-
電波が弱くありませんか。	・アンテナ線を分配して接続します。 ・アンテナレベルを確認します。	61
アンテナ線の差込みがゆるんでいたたり、接触不良になっていたりしていませんか。	・アンテナの向きを調整します。(販売店にご相談ください) ・確認して、しっかりと接続します。	-
アンテナ線(端子)がさびていませんか。	・販売店にご相談ください。	-

接続した機器の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
機器が正しく接続されていますか。	・確認して正しく接続します。	56 57 58
機器の電源がはいっていますか。	・機器の電源を入れます。	-
接続した機器の入力に切り換えましたか。	・リモコンの 入力切換 で、外部機器を接続した入力端子を選びます。	-

画面が暗い、または暗くなるときがある




確認すること	解決法・その他	ページ
部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていませんか。	・ 明るい部屋では、あざやかを選択してみます。 ・ バックライト等で適切な明るさに調整します。	55 56

色がおかしい

確認すること	解決法・その他	ページ
お好みの映像メニューや映像調整になっていませんか。	・ 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。 ・ お好みの映像に調整することもできます。	55 56 57 58 59

音声

音が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
音量が最小になっていませんか。	・  で音量を上げます。	-
画面に  マークが表示されていませんか。	・ 消音 を押すと消音を解除できます。 ( でも解除されます)	-
イヤホンが接続されていませんか。	・ 接続されているイヤホンを外します。	-

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	・ アンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できない場合があります。 お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	61
初期スキャンをしましたか。	・ かんたん設置設定 をします。	16 17
B-CASカード正しく挿入されていますか。	・ B-CASカードを正しく挿入します。	14
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	・ 一般社団法人放送サービス高度化推進協会のホームページ(www.apab.or.jp)で確認することもできます。	-
共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	・ CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。 (CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)	-

引越しをしたら、地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	ページ
引越し後初期スキャンまたは再スキャンをしましたか。	・ 県外に引越しをした場合は、 かんたん設置設定 をします。 ・ 県内で引越しをした場合は、再スキャンをします。	16 17 63

BS・110度CSデジタル放送

BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	・分配器は「全端子通電型」のものを使用します。	-
有料放送ではありませんか。	・有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。	-
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	・視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 ・ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます。(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ) ・BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。	-
テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、Wi-Fi機器(アクセスポイントを含む)などの無線機器を使用していますか。	・左記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像、音声不乱れる場合があります。	-

番組表

番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグを抜いていませんか。	・電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。 ・番組データを取得するの操作をします。	21

お知らせ

お知らせアイコンが消えない

確認すること	解決法・その他	ページ
お知らせの内容を確認しましたか。	・お知らせの内容を確認します。	67

録画・再生

USBハードディスクが使用できない(認識されない)

確認すること	解決法・その他	ページ
本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。	・本機で接続確認済のUSBハードディスクはホームページ(http://www.marshall-no1.jp/support/index.html)でお知らせします。 ※本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。 ※接続確認済の機器でも機器の状態によって使用できない場合があります。	-
機器が正しく接続されていますか。	・USBハードディスクを接続するに従って、正しく接続します。	28
機器の電源がはいっていますか。	・USBハードディスクの電源を入れます。 ※USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。	-
機器が本機に登録されていますか。	・USBハードディスクを本機に登録します。	37
USBハブを使用している場合、本機で使えるようになっていますか。	・ホームページ(http://www.marshall-no1.jp/support/index.html)でUSBハブが推奨機器であることを確認します。 ※推奨機器でない場合は使用できないことがあります。 ※USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。	-

録画ができない、または録画されなかった

確認すること	解決法・その他	ページ
USBハードディスクの残量が足りていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 残量を確認する。 不要な番組を削除する。 	32
録画できない映像ではありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> コピー禁止の番組、独立データ放送、ラジオ放送番組、外部機器からの映像・音声、ネットワークサービスは録画できません。 	-
予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。	<ul style="list-style-type: none"> 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。 ※放送時間が変更になり録画できなかった場合は、設定メニューのお知らせで確認できます。 	45
自動録画設定の場合、番組タイトルに変更がありませんでしたか。	<ul style="list-style-type: none"> 番組タイトルが極端に短い場合、タイトルが前回と大きく異なる場合は次回の放送を検索できず、録画することができない場合があります。 ※録画機器状態により、自動録画機能が実行できない場合があります。 	33
お知らせのアイコンが表示されていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> お知らせの内容を確認します。 	67

録画した番組が消えた

確認すること	解決法・その他	ページ
録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かない。 ※録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。 または、消したくない番組を保護する。 	41

HDMI連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。 	42 47
本機と接続機器の設定は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 接続機器側の連動設定を確認します。機器の取扱説明書を参照してください。 	47 48

オーディオ機器に接続されているスピーカーから音が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続機器側の設定は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> オーディオ機器側の連動設定を確認します。(機器の取扱説明書を参照してください) 	-
スピーカーの接続は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> スピーカーを正しく接続します。 	8 43 44

IPアドレスが取得できない

確認すること	解決法・その他	ページ
IPアドレスの表示が空欄ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ IPアドレスの設定を確認します。 ・ 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> ① 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する ② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します) ③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する <ul style="list-style-type: none"> ・ 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします。機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする。 <p>接続できたとき 最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。</p> <p>接続できなかったとき ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ④ インターネット接続可能なほかの機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する ⑤ 「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の確認をしても接続できない場合は、下記通り本機をリセットします。 	49 50 51 68
	電源プラグを抜いてリセットする	
	<ol style="list-style-type: none"> ① 電源プラグをコンセントから抜く ② 1分間以上待つ ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる 上記方法でも接続できない場合は、設定情報リセットをします。	

IPアドレスが取得できているのに接続できない

確認すること	解決法・その他	ページ
取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ お使いのルーターは、ブロードバンドルーターか確認します。 ・ IPアドレスの設定を確認します。 ・ 取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていればルーターから正常にアドレスを取得できています。 エラーメッセージで「DNSからの応答がありません」等と表示される場合は、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本)など)にご相談ください。 ・ 「169.254.～」から始まっているときは、本機がルーターからのIPアドレスの取得に失敗しています。その場合は、以下の操作を試みてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ルーターを再起動する。 ・ 本機をリセットする ・ 本機のIPアドレスを確認する 	49 50 51

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。(E202)」	<ul style="list-style-type: none"> アンテナが放送に適合していない。 アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 アンテナの方向ずれや故障。 電波が弱くて視聴できない。 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※ 放送が休止中の場合も表示されることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します。(販売店にご相談ください) BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。 	11 12 69
「このボタンにチャンネルは設定されていません。」	設定していないチャンネル番号が押されています。	番組表などでチャンネルを確認します。	-
「このチャンネルはありません。(E204)」	放送のないチャンネル番号が入力されています。	番組表などでチャンネルを確認します。	-
「B-CASカードを正しく挿入してください。 挿入しても、このメッセージが表示される場合は、一旦電源を切り、カードを抜いて挿入し直してください。」	<ul style="list-style-type: none"> miniB-CASカードが挿入されていない。 miniB-CASカードが正しく挿入されていない。 miniB-CASカードが抜けている。 miniB-CASカードが接触不良を起こしている。 	<ul style="list-style-type: none"> miniB-CASカードを正しく挿入します。 miniB-CASカードをカチッと音が鳴るまで押し取り出し、金色端子部に汚れが無いか確認し、乾いた布でふき取り、もう一度入れ直します。 付属のminiB-CASカードの所有権はビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にあります。 認識しないなど、破損した場合の再発行については、付属のminiB-CASカード台紙の記載されている、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にお問い合わせください。 	14

USBハードディスクに関する表示

画面に出るエラー等の表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
メニュー→機器設定→USB機器管理→接続しているHDDを選択→接続が未接続となっている。	接続ケーブルがはずれている。	接続を確認します。	-
	USBハードディスクの電源が切れている。	USBハードディスクの電源を入れます。	-
	USBハードディスクにエラーが発生した。	USBハードディスクの電源を入れ直してみます。	-
メニュー→機器設定→USB機器管理→接続しているHDDを選択→「この機器はサポートしていません。」	USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	USBハードディスクを直接テレビのUSB端子へ接続します。 ※USBハブを経由して本機にUSBハードディスクを接続する場合は接続認識しない場合があります。	28

● 上記一覧に記載していないエラーが発生した場合は、MARSHAL(株)カスタマーセンター修理窓口にお問い合わせください。

LAN端子を使った通信に関するエラー

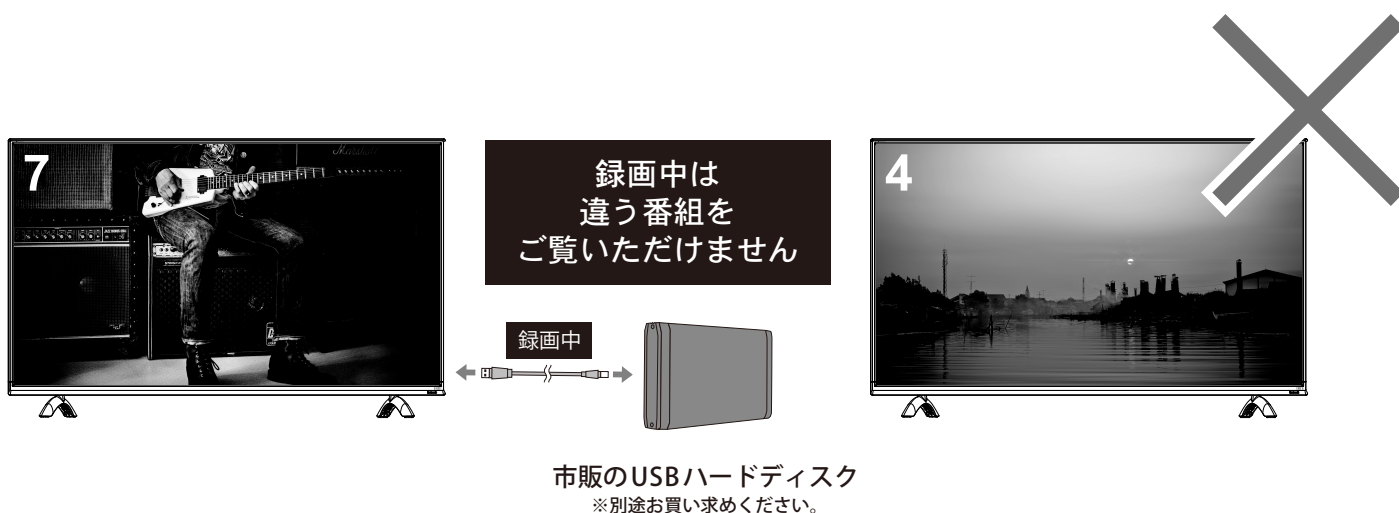
画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。	接続・設定の状態を確認します。	-
	回線が混みあっている。	しばらくたってから、もう一度操作します。	-
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	本機にルート証明書が設定されていない。	ルート証明書番号を確認し、MARSHAL(株)カスタマーセンター修理対応窓口にお問い合わせください。	-
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証ができない。	ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかをMARSHAL(株)カスタマーセンター修理対応窓口にお問い合わせください。	-
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	ルート証明書の有効期限が切れている。		
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	接続先の証明書が有効期限切れになっている。	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません。(本機の動作は正常です)	-
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。		
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	接続先の証明書が改ざんされている。		
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	認証エラーが発生した。		

- 上記一覧に記載していないエラーが発生した場合は、MARSHAL(株)カスタマーセンター修理窓口にお問い合わせください。

シングルチューナーの留守録について

録画・見る

- 市販のUSBハードディスクにデジタル放送の録画・予約ができます。録画中の同じ番組しかご覧いただけません。



注意事項

- ◆ 録画している番組のみ視聴できます。
- ◆ 地上デジタル放送の録画中は、録画している番組およびBS・110度CSデジタル放送のみ視聴できます。BS・110度CSデジタル放送の録画中は、録画している番組および地上デジタル放送のみ視聴できます。

ご使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。（番組情報を取得するためです）
- 畳の上に置かないでください。金属部が直接畳に触れていると、さびが出たり、畳表に穴があいたりする可能性があります。
- 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部入力（ビデオ入力、HDMI入力1～2）の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感を感じる場合があります。
 - ・ ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
 - ・ 外部機器の音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりする際は、以下の手順で行ってください。
- 録画予約が設定されていないか確認する
- 「録画予約の確認や設定変更をする」**35**の手順で、電源プラグを抜いている間に始まる予約がないか確認してください。電源プラグが抜かれていると、予約した番組は録画されません。
- 本体の電源ボタンを押して電源を切る
- 電源プラグをコンセントから抜く

録画・録音について

- 本機に接続した機器に録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
- 本機に接続した機器に録画・録音した内容の長期保存は保証できません。あくまでも一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は録画することはできません。また、著作権保護のため、1回だけ録画が許された番組は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。
- あなたが録画・録音したものは、個人的にまたは家庭内そ

の他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども、原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。

- ・ 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
- ・ 録画した番組をメールやメッセージサービスなどで他人に送る。
- ・ 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を営利の目的で、または不特定もしくは多数の人に貸す。著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 「お買い上げ時の設定に戻すには」**67**で、暗証番号や双方向サービスの情報（住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報）、ネットワークサービスの登録情報なども含めて、初期化してください。
- 廃棄時にご注意ください
家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に接続した機器に正しく記録（録画、録音など）できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。大切な番組の録画・録音には、本機との組合せによらない録画・録音機器を併用することをおすすめします。
- 他の接続機器との組合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

IRIE